新京日日新聞
夕刊　七月二十二日
本紙一部五錢　一ヶ月一円　廣告料金　發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠　編輯人 和波薫　印刷人 水越内之介

興亜の輿望を擔ひ 近衛新内閣誕生
本日中に親任式奏請

【東京發國通】近衛公の組閣工作は廿二日に至り急進展し同日大藏大臣、内務兼厚生大臣、文部大臣、司法大臣、遞信兼鐵道大臣ならびに企畫院總裁らの顔觸れ決定に次で商相に東京電燈會長小林一三氏農相に産業組合中央金庫理事長石黒忠篤氏に就任方を交涉することゝなり、内閣書記官長には長野縣知事富田健治氏に内定、法制局長官は未定であるが二十二日中に組閣を完了し、近衛公は本日中に宮中の御都合を伺つたうへ參内 天皇陛下に拜謁仰付けられ閣員名簿を捧呈引續き親任式を執り行はせられるべく、かくて近衛内閣は六日間にわたる愼重なる組閣工作を終へて成立することとなつた

異色放つ近衛人事

【東京發國通】米内内閣は外交轉換の集中砲火を浴びて遂に倒れ國民待望のうちに十七日近衛公に大命が降下した、日獨伊樞軸の强化、擧國體制の確立、東亞新秩序建設の具體化、これが新内閣に課せられた使命である、近衛公は組閣の大命を拜するや宮中退出後直ちに華族會館において畑陸相、吉田海相と會見、後任閣僚の推薦を要請した、かくて新内閣の國防外交に關する基本方針を決定すべき陸海外三相候補との會談は陸相候補東條中將の歸京を俟つて十九日午後三時から近衛公邸において開かれ前後三時間半にわたる協議で新内閣の方向は決定された

かうして組閣本部も組閣參謀も置かず内閣三長官は一番後で決めるといふ異色あるやり方に出た近衛公は廿一日一ぱいを情勢打診と電話による内交涉とに費し、構想全くなるや廿二日一氣に組閣工作を進めたのである、星野滿洲國總務長官を企畫院總裁とし無任所大臣に据ゑたことは一寸意表に出たやり方だがこれは物動計畫編成の重要性から同總裁に閣僚同樣の發言權を與へ、また將來企畫院の擴大强化を圖る意圖を明かにしたものである、藏相には議會に腐れ縁の無い人が良いといふ近衛公の考へから噂にも出なかつた河田烈氏が突如呼出され新體制の實現に大きな役割をもつ内相の椅子には元文相安井英二氏が推された、また入閣したと思はれてゐた風見章氏は意外にも法相として登場し近衛人事もこゝに至つて世人を驚倒させ、政黨陣を震へ上らせた

異色といへば文部の橋田邦彦博士で村田省藏氏の遞相は第一次近衛内閣當時にも入閣を交涉された人、商相は最初から財界の實務家をといふ希望で小林一三氏を目指した小林氏は既成財界人として比較的新味ある人とてその手腕は期待される、内閣書記官長は長野縣知事富田健治氏に白羽の矢が立つた、農相については石黒千石兩氏が最後までせり合ひの形となり元農林次官井野碩哉氏の昇格說まで飛び出したが結局石黒氏に招電が飛び新體制下の農相としては最適任者を得たわけである

新陸相東條中將は部内の輿望を擔ひ、外相松岡氏はジュネーヴにおける聯盟脫退の立役者として知られ、また政黨解消運動の實踐者で近衛公とは特別な關係にあり轉換期のわが國外交を背負つて立つに相應しい人物である

新内閣の重使命
滿洲國官邊の要望

近衛新内閣は新しい東亞の輿望を擔ひ、高度國防國家體制の確立、經濟統制の强化並びに外交の刷新を目標とする新内閣は近衛公を中心として動きつゝあつた新政治體制を背景とし强力な國民的支持のもとに超非常時日本の難局突破に邁進すべく新内閣に於ける著るしい特色は東條、松岡、星野氏等が樞要ポストに滿洲國と最も深い關係にある人々を揃へたことである、新東亞の紐帶滿洲國はかくて日本政府自體の中に强く反映されることになつたが、右につき滿洲國官邊筋では大要左の如き見解の下に新内閣に多大の好感と期待を寄せてゐる

一、近衛公に對する國民的信望と公自身の持つ高邁なる識見は非常時日本の難局を突破すべき大きな力であり胎動しつゝある新政治體制運動も促進されることゝならうから國民的背景を基礎とする强力な擧國内閣の下に相當英斷的な内外諸政策がとられるものと見られる

一、日本内閣の安定永續性は現下の時局に鑑み極めて喫緊事であり、盟邦として事變處理の共同責任を擔ふ滿洲國としても極力要望するところである、近衛公は對支三原則を含む事變處理の當面の責任者であり今回の公の再登場により事變處理は一層促進されるものと期待されるが、新内閣としては少くとも事變を終局的段階に導くまではあらゆる努力を傾注して事變處理に邁進すべきであらう

一、世界的混亂期に對處する日本の外交轉換は今次政變の重要な原因の一であつた、新内閣は事變處理の完遂を中心目標としつゝも歐洲大戰によつて齎らされた東亞の新情勢に即應する對外政策に出るであらうことは疑ひない、特に聯盟脫退の立役者であり、大陸への深い認識を持つ松岡洋右氏の外相就任によつて少くとも英米依存の外交通念は清算され東亞のみならず世界的な新秩序運動に日本が積極的に關與することゝならうし、この日本外交の一大轉換の結果獨伊と日本との關係も一層改善されるものと期待される

一、新内閣に東條、松岡、星野氏等が樞要地位に着たことは日滿兩國の一體關係が日本政府の構成に於て具現されたものとして充分の期待が持たれる、滿洲國政府は日本政府との間にこの强力なる人的の繋がりを持ち得たことを歡迎すると共に日本の皇道宣布、新たなる亞細亞の再建も常に大陸の據點滿洲國の健全な發展に基礎を置くものなる點に留意し日本新政府が更に積極的に日滿提携の强化に善處するやう待望する

既成政黨へ無言の强壓
近衛公獨自の布陣

【東京發國通】風見章氏の法相と安井英二氏の内相はかねて近衛公が胸中深く秘めてゐた新政治體制確立のため政府陣營の中核布陣であつて全く公獨自の案に基くものである、しかして既成政黨が未だ全部解黨せず、民政黨の一部を中心に執拗に政黨解消反對の勢力が集結されんとする機運がほの見える今日さらに明年の總選擧を控へて選擧法を改正し新政治體制確立の前提工作を敢行せんとする建前より風見、安井、富田の布陣はそれだけで既成政黨へ無言の强壓を加へるものとみられ親任式終了を俟つて發せられる近衛首相の第一聲と相俟つて新政治體制確立に對する近衛公の積極的決意を端的に現はしたものとして注目される

建設の立役者
檜舞臺へ星野直樹氏
滿洲に殘した巨きな足跡

滿洲國總務長官の要職から近衛内閣無任所相兼企畫院總裁として檜舞臺に活躍することゝなつた星野直樹氏は、總務長官就任後今日に至るまで恰も滿洲國そのものゝ象徵であるかの觀を呈し、いま星野氏の去ることは滿洲國としてその肉體の一部を削ぎ取られるの感を與へる、その滿洲國政治に殘した足跡は極めて大きく最近滿洲國の中心となつてゐた星野氏はその性格を以てそのまゝ滿洲國の性格を造つてゐたと言へる、それだけに星野氏が去ることは滿洲國を全然生れかはらせるものと言ふべく、その主力を取除かれた滿洲國としては根本的な再建を意味して去るものに對して哀惜と寂寥とを禁し得ないものがある

星野氏は明治廿五年四月十日の生れ當年取つて四十九歳の働き盛りである一高を經て東京帝大法學部を大正六年に卒業直ちに大藏省に入つたが、帝大在學中に高文に合格、天禀の才は大藏省に於てメキメキとその鋒鋩をあらはし持つて生れた氣骨は當時大藏省内を支配してゐた國士風の風潮の中にあつても鮮かに頭角を現はし、俊才と氣骨は漸次大藏省内に於ても重きをなさしめ、逐次昇進して昭和七年一月國有財産課長に就任した頃は賀屋、石渡、青木の三氏と並び稱されて大藏省の主力を形成してゐた、昭和七年滿洲國建國と共に自ら率先して滿洲國政府に入つたが、同時に大藏省内俊秀の士の中より田中滿業理事、松田奉天省次長、田村敎育司長、古海經濟部次長、山梨商務司長、故永井經濟部文書科長等の精鋭をすぐつて來たので宛然大藏省革新分子の大擧大陸移駐の觀を呈し星野氏の滿洲國に對する功績は先づこれに發してゐる、爾來財政部總務司長の要職にあつて滿洲建設の推進力となり駒井、遠藤、長岡、大達の各總務長官、廳長のあとを受けて康德三年十二月總務廳長となり(のち行政機構改革と同時に總務長官と改稱)産業五ヶ年計畫の樹立と共に第二段階に入つた滿洲國建設の立役者として丸三年八ヶ月の間文字通り滿洲國の支柱となつた

この間數々の功績を殘してゐるが在任中支那事變並に歐洲動亂の勃發を見て内外の實務は愈よ重きを加へた

同氏は人も知る如く豪放磊落の大野人であるが、その反面に於ては針の如き緻密なる神經の持主であり時にその事務的手腕に於ては現代官僚の最高峰を行くものとされてゐる、一時小總務長官の惡評を蒙つたこともあるが、これは星野氏が餘りに積極的であり活動性に富むがためであり、その實行力に富む點に於ては少壯官吏を以て成る滿洲國に於ても一頭地を拔いてゐる

一方その引連れて渡滿した大藏省一族はその後盤石の如く滿洲國の政治に腰を据ゑてその推進力となり、星野氏の思ひ切つた活動の支援となつてゐる、星野氏の總務長官在任中に於ける施策の幅と深さ、その活動的にしろ力强き足どりを見ればむしろ歷代長官中の大總務長官とも許すべきものであらう、今試みにその在任中成就した大事業を眺めても產業五ヶ年計畫の樹立、遂行並に修正、至難なる行政機構改革、治外法權の全面的撤廢、協和會の擴大强化、滿業の設立、北邊振興計畫樹立、支那事變勃發後は戰時的諸經濟政策の實施、昨年以來特產專管其他劃期的な統制經濟政策、更に最近に於ける金融引緊め等と枚擧に暇なく、支那事變の進展から歐洲動亂の勃發と移り行く國際情勢の間にあつて滿洲國も重大なる質的發展と轉換を遂げる時星野氏は自ら滿洲國の舵を取り帆を上げて大童の活動を續けて來た、時局の重壓加はるに從つて滿洲國の國内政治は頗に困難を增し、滿洲國政府はその政治に新生命を開き人心を一新する意味に於て經濟行政機構の改革と上層人事の大異動を斷行したがその間總務長官としての星野氏の重責は氏の長官在任中に於ける苦惱の時期をなしてゐたと見られる

出ては自ら日本政府との折衝に當り入つては數々の重要政策を自ら立案遂行する星野總務長官は滿洲國政府の受ける毀譽褒貶を悉く一身に引受ける狀態であつたので最近に於ける特產專管制度實施後の推移、產業五ヶ年計畫の實行經過、金融引緊の斷行案に對する世の批評は良かれ惡かれみな星野氏自身に向けられてゐた

福建省沿岸の援蔣據點を完封
わが海軍の制壓下に遮斷

【○○艦上廿二日發國通】わが南支艦隊の泉州、興化灣作戰に引續き二十一日の三都澳上陸作戰により西南および香港ルート閉鎖後敵が秘かに物資輸送路再建を企圖してゐた福建省沿岸の重要據點は悉くわが海軍の制壓下に歸しわが航行遮斷の間隙を狙つた戎克ルート再建も完膚なきまでに打破され再起不能に陷つた

監察行政强化
監察參事官會議 第一日

監察部では去る六月廿一日以降吉林、龍江、濱江、三江、熱河、東安、北安、錦州、興安北省の九省にそれぞれ監察擔當參事官を配置しもつて

一、地方官署の自省自戒と能率增進の徹底化
一、國家の主要方針ならびに計畫に對し各官署の採れる措置の當否ならびに現地方面の反響如何
一、各特殊會社業務に關する監理指導の適否及び官民の批判要望狀況如何

などの諸方針を掲げ重要施策につき愼重適切なる監察行政を擔當せしめて來たが現下の滿洲國諸情勢の緊迫化につれて監察行政を更に一段と强化するの必要が痛感されるに至つたので、總務廳監察部では上記參事官を中央に招集し廿二、三の兩日國務院第一會議室において第一回監察參事官會議を開催、中央側より監察制度運用の根本主旨に關する指導方針を指示し併せて今後中央、地方一體連繫のもとに監察行政の强化萬全を期することになつた、第一日の二十二日は午前十時より開會、まづ

一、總務長官訓示(次長代讀)
二、指示事項(總務廳監査部及び地方處)
イ、監察制度の根本主旨に關する件
ロ、省監察擔當參事官の職務權限に關する件
ハ、監察の準據法規に關する件
ニ、康德七年度監察計畫に關する件
ホ、康德七年度監察重點事項に關する件
ヘ、市縣旗及び警察廳の行ふ監察に關する件
ト、省監察委員會設置に關する件
チ、中央及び地方各省、廳所屬監察擔當參事官の連絡に關する件
リ、監察結果報告作成要領に關する件
ヌ、財務監察の徹底方に關する件

第二日は午前九時より開會され中央、地方側双方より隔意なき意見を開陳、協議懇談を行ふ

日滿農政研究會
第一日、報告、諮問事項を審議

日滿支を通ずる食糧飼料及び開拓問題並にこれに伴ふ農產物增產問題等農業關係重要諸問題を俎上に檢討を加へ具體策樹立の重要なる要素を構成すべき日滿農政研究會第二回總會は新體制内閣組織途上、總務長官交替等に慌たゞしい二十二日午前十時半より國務院講堂に開催した

前農相酒井忠正伯及び滿洲移住協會長大藏公望男は二十一日相ついで入京又既に本月中旬入滿して北滿開拓地及び農業事情視察中の中銀理事長石黒忠篤氏は新内閣農相就任の招電をうけ二十一日夜急遽歸京、滯京中の那須浩博士も同行東上するなど時局を反映する農業關係要人の動き繁きさなか日滿業界注視のうちに第一日日程に入つた、酒井伯會長席に就き石坂特產局長開會の辭を述べ議事に入り、農林大臣及び興農部大臣の挨拶あつて後左の如き報告及び諮問事項を審議した

一、諸報告事項
一、日滿農政事情の年次報告
一、第一回要望事項に關する政策實施狀況
一、滿洲農產物增產十ヶ年計畫に關する諮問

星野長官退官

政府は星野總務長官の近衛内閣入閣に伴ふ辭任方電請に對し二十一日夜所定の國内手續を終つたので、二十二日左の如く正式に發令した

總務長官 星野直樹
依願免官(七月二十一日附)

英本土を空襲
獨軍司令部發表

【ベルリン廿一日發國通】獨軍司令部發表

一、獨空軍戰鬪機隊は廿日夜より廿一日にかけてイングランド中部および南部の飛行場ドックおよび石油タンクを爆擊、さらにイングランド北部のニューカッスル市を猛擊同市の工場に火災および爆發を起さしめた

一、また獨空軍は海峽地帶で英護送船隊を攻擊護衛の英巡洋艦一隻および驅逐艦二隻に大損害を與へた、その際獨追擊機は英機九機を擊墜した

一、英空軍は廿日夜ドイツ北部および西部オランダの各地を爆擊したその際獨側は敵機九機を擊墜した

羅、獨接近表面化

【ブカレスト廿一日發國通】確聞するにルマニアは最近ソ聯より人民政府組織要望の通牒を受けたといはれるこれに對し國王カロル二世は目下獨伊兩國に對し意見を徵してゐるといはれるがブカレストの外交消息筋はソ聯政府今回の措置を一種の内政干涉とみてをりその結果ルマニア政府の對獨接近はさらに表面化するであらうとみてゐる

バルト三國ソ聯に加入

【ニューヨーク廿一日發國通】廿一日ニューヨークに達したA・P、リガ電によればリトアニア、ラトヴィア、エストニアのバルト三國議會は廿一日それぞれ滿場一致をもつてソ聯に正式加入を宣言した

佛印の對日態度變らず

【河内廿一日發國通】新佛印總督ドクー海軍中將は廿日正式に就任したが、總督の更迭によつて佛印の對日親善の態度には些かの變化をもなき旨、佛印政廳よりわが監視團當局に通告し來つた

國同解黨式 廿六日擧行

【東京發國通】國民同盟は去る十三日の聯合會における安達總裁の演說の趣旨に基き新政治體制參加のため廿六日午前十時より所屬兩院議員ならびに地方支部代議員の參集を求め解黨式を擧行する

……新入閣の人々……
純情肌の野人 讀書家風見新法相

【東京發國通】事變當初近衛内閣の大番頭書記官長として又近衛さんの良き相談相手となつて腕の冴えを見せた風見章氏が今度は異色の司法大臣として入閣した、部外出身の法相は政黨内閣の沒落以來初めてゞあり「野人」で通る風見さんがその椅子に坐つたのだから新聞社のテントも一寸ビックリした、風見さんは早稻田の政治科を出ると新聞記者になり操觚界に身を投じて長い間侃々諤々の論陣を張つたものだが後、郷里の茨城縣から選出されて代議士になり野人風見の政治生活が始つたのである

生一本の純情肌で農村問題に明るく政界では珍しい程の讀書家で早稻田時代には肝腎の學科をソッチ除けにして專ら語學の勉强をしたといはれフランス語は相當達者だ、座談がうまく何時間聽いても人を飽かせない點新體制運動の大きな力として活躍を續けてゐるだけに新内閣の推進力として又世間に風見ファンが多いだけに内閣に明るい一面を加へたものとして好評である

海運界の明星
村田新遞相の抱負

海運界の雄大阪商船株式會社の社長から遞信大臣となつた村田省藏氏は明治十一年十月村田正藏氏の長男として東京府に生れ、同卅三年東京高商を卒業と同時に實業界に入り、堅忍不拔の精神と稀に見る才幹とは氏の豐富なる經綸と相俟つて忽ち實業界に頭角を現はし大阪商船社長となるや强豪日本郵船を向ふに廻して顔色なからしめ、今や正に日本海運界の明星として實業界に重きをなしてゐる、遞信省關係の業務に對して有する氏の關心は非常なもので本問題に對し氏は

現在の海運界は海運界自體だけではどうにもならない程行詰つてゐる、遞信省にしても商工、農林兩省との密接な連繫がなければ何も出來やしない、例へば電力問題などは電氣廳もまづいが日本發送電もまづいと言へる、電力供給不足のため生產力擴充を阻害してゐることは事實でありこれは遺憾だ、一面も電燈を暗くしたりエレヴェーターを停めたり電力問題も直接國民生活にまで食ひ込んで了つた、こんな事が長く續くととても惡い影響を及ぼすものである、一般に國策會社と言ふものは非常な無理をしてゐるがこれは何も電力會社ばかりではない、一般國策會社にも多分にこの樣な點が多いといふことも大いに必要だ

と語つてをり、これなどは村田新遞相今後の施政方針を示唆するものとして注目すべきであらう

なほ同氏は攝津海上火災取締役會長であり、他に日清汽船、北日本汽船、南洋海運、日華生命等々十餘會社の重役を兼てゐるが、昭和十二年八月日本興業銀行參與理事を命ぜられ、同十四年一月貴族院議員に勅選され現在に及んでゐる

人事往來

着京
▲宮本通治氏(大連滿鐵調查部次長)二十二日來京ヤマトホテル ▲原田清一氏(大連滐水洋行)同國都ホテル ▲森本征記氏(同支配人)同 ▲藤常武氏(延吉延和金鑛)同 ▲中野誠一氏(奉天農大敎授)同松屋ホテル ▲下村長三郎氏(大連ゴルフ倶樂部支配人)同 ▲宮田秋男氏(鞍山ゴルフ敎師)同 ▲中村謙吉氏(大連ゴルフ敎師)同 ▲吉田節治氏(撫順ゴルフ敎師)同 ▲内田義男氏(奉天ゴルフ敎師)同 ▲前田建造氏(大連ゴルフ敎師)同 ▲三好建一氏(同)同 ▲野口龜吉氏(錦州パルプ)同滿蒙ホテル ▲宇佐美貞義氏(奉天東洋タイヤ)同

出發
▲染谷保藏氏 奉天へ ▲野田武太郎氏 同 ▲大木謙一氏 大連へ ▲益子石太郎氏 吉林へ

その日く

◇構想つひに生むものを生み、七月の夏空あざやかに澄む
◇滿洲贔り、滿洲旅行者、この陣容の大陸との緣深きを思ふ
◇さらに望むはその實際の施策の上に於ける協同の具體化である
◇米國、倒れようとする重慶に棉麥返還を約しても何になるのか
◇ソ聯も膨脹しつゝある、新しい戰術にこの方面にも窺はれる

……けふ國本奠定詔書の奉戴式……

建國神廟御創建に關する國本奠定詔書奉戴式は廿二日全滿官公衙及び學校一齊に擧行されたが、全滿の各家庭では日滿兩國旗を掲揚してこの日を祝福し、國都では先づ午前十時から國務院に張總理以下全員參列して奉戴式を擧行したのをはじめ協和會中央本部でも市公署、首都本部等都下の各官廳團體なども同じく午前十時から協和會館に集合嚴肅な奉詔式を擧行した【寫眞は各會場】

防疫陣を潛り遂にコレラ發生

鐵道北から滿人職工

直ちに豫防注射受けよ

鐵北住吉町七ノ二八滿洲醬園工場職工張忠喜（三三）は二十一日午前三時頃突然發熱嘔吐しはじめたので六時頃近くの北安醫院醫師に診て貰つたが二十二日午前六時死亡した

醫師は症狀に不審を抱きこの旨警察並に市當局へ報告するとゝもに宿舍の消毒を行つた、市、首警では張の便を採つて細菌檢査した結果正午疑似コレラによる死亡と判明、哈爾濱、奉天に傳染病蔓延の折柄驚きこれが應急處置として再度の消毒を行ふ一方同工場職工日本人七名、滿人六十三名計七十名を特殊隔離して傳染を阻止しつゝある

首警、市當局ではこの際一般市民は保健所、衛生試驗所等で率先コレラ豫防注射を受けられるやう望んでゐる

橋田先生招閣とは……

流石近衞公は具眼

新文相を語る阿部衛生技術廠長

新文相に決定した東大生理學教室教授一高校長橋田邦彥醫博の交友阿部衛生技術廠長を自宅に訪へば最大級の讃辭と最高級の快哉を叫んで語る

……×……

橋田先生の名は君達新聞記者も餘り知るまい、左樣に先生はヂャーナリズムに緣の遠い人だがといつて仙人型の人でもなく一寸稀な風格の方だ、然も禪の哲學者であり科學者として國家百年を思ふ教育に對しての燃ゆるが如き熱情を包藏して居られる、最近の世界情勢から科學にも國境が出來て日本は日本の科學を獨往邁進研究せねばならぬ現狀にあつて先生が出馬せられたことは全く愉快です、ひとり私の喜びのみならず日本國家のために欣快至極です、大體科學者は研究の對象を物に置いてゐるから迎へに來なければ自分から進んでは出ないものだ、近衞さんが先生を招かれたことは失禮ながら流石具眼の士と敬意を表したい、それに文相は結局實際經驗者でなければ深みのある仕事は出來ないのだから學者であり教育の大家である先生の今後の文教ぶりこそ刮目に足るものがあらう

晝夜なしのあの努力

星野さんの精勵を想起　語る石野すみさん

星野さんをもつともよく知る人たちを代表して國都中央通滿蒙ホテルの女將石野すみさん（三七）は「お客とホテルと云ふ氣持でなく今回の御榮進に心から祝福の言葉を申上げたい」とにこやかな面もちで遠く八年前を次の樣に述懷した

星野さんだけは二階二十五番の一室に他の人は六疊に二人、八疊に三人と云つた風に山梨さん、古海さん、松田さん等十一人が雜居されてゐました廿五番は一室といつても七疊半で、給仕する女は私を加へて四人でしたから、星野さんもお櫃を持つて行くと自分でよそつて喰べられた始末であの當時の姿が今でも目に浮びます、朝は早くから御出かけ夜は十二時過ぎのお歸り、全く夜も晝もないお勤めぶりでした、勿論宴會どころの騷ぎではありません、建國精神に燃えた皆さんのあの努力が夢にも描かなかつたこんな素晴しい滿洲國を生み出したかと思ふとこの人をお送りせねばならぬのが淋しくてなりません

綠蔭こころぐ　（完）

坂を上つてく人も坂を下つてく人も玉のやうな汗を流してけだるさうに通る綿のやうな千切れ雲がポッカリ／＼三つ四つ浮かんでる午後の病院は藥瓶を下げたり繃帶で包んだ手を頭から吊つたりした病む人達で可成りの盛栄を呈してゐる、支那そば屋か氷水屋の出前持がおかもちを下げて病院の門をくゞつて行つたあとに白衣の佳人が一人ポッンと立つて道路をながめてゐたが、漫畫子がスケッチしてるのに氣がついたとみえてスイと踵を返して門内に消えて行つた（滿鐵醫院附近にて）

滿洲國も心殘り

巨星 星野に哀惜と慶賀

松木總務廳次長感懷一入

巨星星野の最後の女房役を勤めた松木總務廳次長は語る（寫眞松木次長）

私が星野さんの女房役となつてから恰度二ケ月半、その間私は海拉爾方面へ出かけたり星野さんは御訪日に扈從して行かれたりして本當に顏を合はせたのは二十日足らずだらう、それから言へば實際淺い御緣だがおつき合ひは何しろ建國以來だから相當永いね、坂谷君や源田さんに次いで星野さんは眞先きに來滿された一人だけにその殘した足跡は大きい、話せば限りがないし皆もよく知つてるだらう産業經濟を始め建設期に入つた滿洲國の基底は殆ど星野さんのした仕事だつた、康德四年十二月のあの治外法權撤廢も星野さんが長官になつた早早の歷史的なことだつた何しろ總務長官といふ役目は大變なもので頭もよくなけりや出來んし人の上に立つてゆく迫力もなければ駄目だ、それには第一身體がつゞかなければならない、その點星野さんは理想的だつた、あれだけ八面六臂に切つて廻して益す元氣でしかもいかにも若々しく野球をしたり庭球をしたり、どこかチャイルデイッシュな親し味とエネルギーがあつたね

とにかくあれだけの仕事が出來たのは星野さんなればこその點が多い、ことに財政部時代特に投資財政をやつてゐた關係から現在活動してゐる主要な特殊會社の創立で星野さんの息のかゝらぬものは殆どないだらうさうした隱れた方面に大きな底力があつてこそ聖戰下の多難な滿洲國を背負つてゆけたんだね、何と言つても三年半の長官としての仕事ぶりは立派なもので歷代長官中一番實績を殘した一人ではないかしら

だからこそ政變があると恒例のやうに星野さんの噂が出た、それだけ日本としても期待が大きかつたのだらうし、また滿洲國としてもまだまだ星野さんにお願ひしだいものが澤山あつた、今度は全く突然で案外當人も周圍も豫期してゐなかつたやうだね、今回の入閣は確かに慶賀すべきだが星野さん自身もまた滿洲國も相當心殘りと哀惜多いものがあるに違ひないと思ふ

平島滿鐵支社長赴奉

滿鐵新京支社長平島理事は二十二日二十三日兩日に亘り奉天で開催される同社重役會議に出席のため二十二日午前九時三十分發列車で赴奉した

本社主催

民族的國技の爭覇

迫る第一回市民足球大會

逐年隆盛の一路を辿りつゝある本邦スポーツ界の權威、民族的國技である足球は東亞大會その他各種大會に目覺しい活躍ぶりを示してゐる本社では來る八月三日、四日、十一日の三日間紀元二千六百年の慶祝記念として又めぐまれぬ在京足球ファンの渇望を充分に滿足せしめるべく全新京足球の權威を網羅した第一回市民足球大會を體育聯盟新京事務局後援の下兒玉公園競技場に盛大に擧行するが未申込チームは左記要項により至急申込まれたい

▼參加資格　新京市民但都市對抗、東亞大會出場者は除く
▼試合方法　勝拔き
▼競技規則　滿洲帝國足球大會規則による
▼試合時間　一時間（ハーフタイム五分）
▼參加人員　一チーム監督以下十六名
▼申込場所　本社　體育部（電三―三三〇〇）
▼主將會議　七月二十七日（土曜）午後二時於市公署第一會議室
▼組合せ　主將會議席上での抽籤による
▼申込締切　七月二十五日嚴守

新京特別市長盃をめぐる熱戰は大いに期待すべきものがあらう

國都のマーク決る

國都の紋章が決つた――市公署ではかねて日滿全國に募集中であつた紋章圖案（賞金一等一名百圓佳作五名二十圓）は締切迄に二千餘點に上り係官を驚かせたが、前後數回に上る紋章審査委員會で嚴選に嚴選を重ねた結果二十二日左の如く當選並に選外佳作を發表した

當選　奉天市　彥利賀酒
選外佳作　高橋芳雄、吉田安太郎、山下君藏、三宅良男、豐島正雄

滿鐵夏季大學

講師に清澤洌氏ら來京

例年全滿主要都市で開催好評を博してゐる滿鐵夏季大學は本年も各地で開催されるが新京は八月五日から四日間西廣場厚生會館で開催することになつた

講師は外交問題清澤洌氏經濟問題金原賢之助氏青年問題田澤義輔の三氏に決定した

告ぐ　點呼令狀交付不能者出でよ

曩に簡閱點呼令狀交付され中

藤崎榮治（七月廿五日午前八時）
松本松義（七月廿五日午前八時）
野口　祐（七月廿四日午前八時）

の三名の者無屆轉出をなし所在不明のため令狀交付不能それがため當局の手を煩はせてゐるので心當りの方があれば當日午前六時迄に新京神社に集合するやう本人へ直ちに通知されたし

今冬は明朗ですぞ

石炭の闇絶滅に本腰！

近く配給申請書の配布

〝夏來りなば多遠からじ〟來る採煖期に備へて市公署では四十五萬市民に寒い思ひをさせたくないとの親心から採煖期に於る石炭需要量の確保とゝもに闇取引買溜め絶滅を期して石炭切符配給をなすべく種種準備を進めてゐたが

すでに石炭配給申請書二十萬枚の印刷も終り二三日中には區、町會を通じて一般家庭へ配布し配給量の申請をなさしめることゝなつた

同申請書の蒐集整理のゝち配給量の査定を行ひ採煖期來とゝもに配給が開始される筈

野營合宿

電業協和青年團

「眞夏に鍛へよ」と電業協和青年團二百六十名は廿二日から南嶺動物園内に合同野營を行ひ團體精神の訓練を通じて護國精神を體得すべく藤原養成所長を團長に第一班＝廿二日から廿四日まで七十名、第二班＝廿四日から廿六日まで四十名、第三班＝廿六日から廿八日まで六十名、第四班廿八日から卅日まで九十名がそれぞれ中野春雄、小倉重夫兩氏指導の下に協和青年の意氣高らかに心身の鍛錬、精神陶冶を行ふことになつたが第一班七十名は午前八時半から中野班長のきびきびした命令により夏陽きびしい野外の清澄な空氣を浴びて嚴肅な教練を開始した

長野縣視察團來京　長野縣滿洲移住地視察團二十一名　縣拓殖課内更生協會主事伊藤彌武氏引率二十三日午後八時四十分着列車で拉法より來京二泊二十五日午前八時發列車で奉天に向ふ

夏枯れ東都劇壇に

李香蘭初舞臺

花柳章太郎　滿洲名花と競演

東寶へ行くか行かぬの噂の中に寢耳に水電擊的な松竹よりの申込みに東京の檜舞臺に立つことになつた李香蘭は明日滿映歸社二十四日のぞみで東京へ出發八月一日よりの歌舞伎座に新生新派花柳章太郎丈等と堂々共演することになつてゐる李香蘭出演の演し物は「黎明曙光」であるが之には水谷八重子、大船より西村青兒、笠智衆等の特別出演も豫定され、脚本は特に李香蘭の出演場面が多くなる樣に改變される筈であるが

花柳、水谷等新派の巨頭連に混つて一映畫スターにすぎぬ滿洲姑娘が歌舞伎座の舞臺を踏むことは全く前例のないことであり夏枯れ時に當つてこの變つた企畫には東京の興行街方面でも注目してゐるが先づ企畫の珍らしさに既にヒットは確實とされてゐる【寫眞李香蘭（上）と花柳章太郎】

豆職員の合同體育大會

次代の滿洲國を背負ふ若き青年達の意氣も高らかに來る廿七日午前八時から夏草もえる南嶺國立運動場で政府職員養成機關合同體育大會が擧行されるが

當日は井上大同學院長を總指揮に中央警察學校財務職員訓練所、中央農事訓練所、中央師道學校など在京十一政府職員養成機關の生徒數百名が參集、午前八時入場、國旗掲揚、皇居帝宮遙拜、國歌齊唱に續いて興亞の英靈に對して默禱を捧げたのち合同建國體操、運動競技を行ひ午後二時半から閱兵分列を行ふ

大相撲慰問打合せ

【長崎發國通】大日本相撲協會の木戸部長時津風は大相撲の中支皇軍慰問團の日程につき現地側と打合せのため廿一日午前十一時長崎出帆の上海丸で渡支したが船中左の如く語つた

今回は幕内十兩全部が參加し總勢二百五十名、九月廿五日に南京場所を開く豫定です、出來れば支那側要人にもわが國の國技を見て貰ひたいと思ひます、南京場所が濟んでからは双葉山班と男女川班の二班に別れ前者は漢口、後者は安慶、蘇州、杭州の皇軍を慰問します

ゴルフ競技

國務總理杯爭奪

國務總理杯爭奪ゴルフ豫選競技は廿一日午前八時から新京ゴルフ球場において擧行したが廿七日まで豫選を行ひ廿八日決勝を行ふ、成績左の通り

△豫選一回戰（18ホールメダル）

氏名			計	H	
大津留	47	43	90	24	六六
町田	41	43	84	14	七〇
朝川	47	43	84	[illegible]4	七一
平松	46	50	96	24	七二
樹川	47	49	96	24	七二
難波	46	44	90	17	七三
高柳	45	50	95	22	七三
山下	47	42	89	15	七四
三谷	46	46	92	18	七四
鈴木	47	48	95	21	七四
中川	44	43	87	12	七五
見目	50	46	96	2[illegible]	七五
尾上	46	52	98	21	七五
馬場	48	51	99	23	七五
飯澤	44	43	87	11	七六
浦川	49	48	97	21	七六

△豫選二回戰（18ホールマッチ）

朝川重英 3―2 町田義知
飯澤重一 5―4 平松百治
見目惣一 4―3 馬場勇
大津留聽一 3―1 難波經一
山下善代 6―4 掛川米次郎
浦川秀信 1アップ 高柳保
三谷光三郎 2―1 尾上利治
鈴木作造 2―1 中川重隆

あす（廿三日）

△地政總局會議　於國防會館午前九時
△滿拓會議　於國防會館午前九時
△滿洲自轉車統制組合會議　於國防會館午前九時
△勞工協會會議　於軍人會館午前九時
△滿拓會議　於軍人會館午前十時
△軍用犬座談會　於青葉グリル午後七時
△奉天洋畫展　於三中井百貨店

今晩の放送

▲七・三〇（新京）特別講演「恩赦の詔書を奉戴して」及川德助▲七・四〇（東京）未定▲八・〇〇（東京）連續物語「太閤記」（三）中村歌右衛門▲八・三五（奉天）連續野談「孝女沈淸」尹白南▲九・〇〇（金澤）府縣めぐり「石川縣の卷」

シュトラウス翁からの"祝典曲"到着
今秋、日響で發表演奏會

【東京發國通】輝くわが紀元二千六百年を奉祝する歐洲樂壇からの贈物……ドイツが世界に誇る作曲家リヒアルト・シュトラウス翁（七六）の大交響樂「祝典曲大日本帝國の紀元二千六百年に寄す」とフランスの名作曲家ジャック・イヴェール氏（五〇）の交響樂「祝典序曲」が十九日前後して祝典事務局に屆いた、シュトラウス翁の祝典は寫眞の複寫本で二部、一部は獻上品で乳白色の美しい紙の裝幀、扉には翁の自筆で「いと深い敬ひの心こめて大日本天皇陛下に捧げ奉るリヒアルト・シュトラウス」とインクの色も鮮かに記してあり、またこの曲に添へた手紙には

日本が萬世一系の天皇陛下を戴き二千六百年を迎へたことを祝ひその古い歴史の國に自分の作品を捧げることに限りない名譽と感激を覺える、この序曲を天皇陛下に獻上申上げたいと存じます、私はこの曲が廣く皆樣のお目にとまり兩國間の友誼を深めるに役立つことを心から願つて已みません

とあつた、また別に樂曲の解説もあつたが、それによると翁は日本藝術に對する憧れの氣持で日本國土の風物、武士の精神をこの曲で表現し永遠の皇謨を壽ぎ奉つたとある、一方イヴェール氏のは五線紙に書卸したまゝのもので一行の解説もないが、シュトラウス翁と甚だ對蹠的な淘にあつさりした贈呈ぶりだが、これで去る五月到着したハンガリーの作曲家サンドール・フエレッス氏の祝典曲を入れて既に歐洲からの奉祝曲五部のうち三部は完成したわけだが、イギリスのベンジヤミン・ブリトン氏の分もイタリーのイルデブランド・ピッツエッチー氏のもこの秋までには屆くので十一月末には日本放送交響樂團によつて發表大演奏會を開く豫定である

日活時代劇補強

日活京都ではこんど和田勝一と專屬契約を結んだ他史實研究に携つてゐた生駒俊一も脚本部に入社させ女優陣に橘公子、西澄子、深田美彌子を大いに賣出す事になつた

吉本五人男唄ふ

東寶吉本提携作品「當世五人男」は齋藤寅次郎監督で開始されたが主演の吉本五人男がミルクブラザースの伴奏で明治大正に流行した左の懷かしい往年の流行歌をやる

エンタツ（トコトンヤレ節、ハイカラ節）アチヤコ（ストライキ節、ダイナマイト節、ちよんきな節）三龜松（東雲節、壯士節、サノサ節）川田義雄（ラツパ節、四季の歌）金語樓（あきらめ節マガイソング、オツペケペ節）

杉の東寶出演
惜しくも沙汰止み

既報、東寶の「孫悟空」で沙悟淨役に出る筈だつた杉狂兒は、多摩川側の事情から不出場となり新たに藤原鷄太がエノケン一座から配役が極められるが、この役は最初川田義雄の豫定だつたのが杉に白羽の矢が立つたもの、なほこの映畫には渡邊はま子やわが國に初お目見得となる支那女優汪洋なども出演の筈である

日活京都 秋の大作

日活京都下半期二大作吉田絃二郎作、和田勝一脚色、稲垣浩監督、"江戸最後の日"寺島柾史作、辻吉朗監督"維新の處女地"は兩監督とも準備に忙殺されてゐるが"江戸最後の日"は稲垣監督が劇團のヴエテラン和田勝一を起用、これがシナリオ化に當らしめ和田氏も原作者吉田氏との最後的打合せを終り脱稿を急いでゐる"維新の處女地"は時代劇最初の北海道開拓史で老練辻吉朗が名作「海援隊」以上のものにせんとする野心篇で既に北海道長期ロケプランも決定してをり近く開始する

▽▽釣鐘草△△ 高峰秀子が「花つみ日記」と同じ原作吉屋信子、演出石田民三のスタッフに依る作品、父母に生別した寄邊のない姉妹の抒情詩、伯父の家に寄寓する弟の爲に師範學校の寄宿舍に居る姉は勉強の合間に寫字の仕事をして木馬を買つてやる、しかしその木馬は弟の小さな魂が天國に召された枕邊にしか間に合はなかつた、小高たかしが弟になる他に澤村貞子、清水美佐子、御橘公、北澤彪が助演、唐澤弘光撮影、帝都キネマ次週封切

キャプラ監督の新作

『我家の樂園』『スミス氏首都へ行く』等いつも問題作を提供してゐるフランク・キャプラ監督の今年度作品については各方面が注目してゐたが、つひにその新作が發表された

題名「ジョン・ドーの一生」有名の野球選手を主人とする傳記的映畫でゲーリー・クーパーがジョン・ドーに扮して素晴しい選手振りを見せるのが賣物となるだらう相手役はバーバラ・スタンウイツク、それにアカデミー助演賞を受けたウオルター・ブレナンが傍役に招かれた、この映畫は名脚色者ロバート・ラスキンとキャプラとの合作によるもので、映畫はワーナーから發表される

雑音

防空演習あけ、日曜日とも各館とも中の活況を見せた何時もだと大汗ダクの映畫見物も近頃の涼風に幸ひされて客足も誘ひ易いといふ、映畫館にとつては結構なお天氣である▼東寶スター霧立のぼる、澤村貞子、御舟京子、笠原英子らあすから帝都キネマへ哈爾濱からの歸途賑やかに來演する、全くこのところ實演縁は一手引受けの態である▼朝日座の次の洋畫プロは「海のつわもの」と「狂亂のモンテカルロ」の二本洋畫の再映も封切館で使ひ古し、どうやら二番館へ順盗りに廻つて行つた形、かうなると未だ〳〵使へる數はない

腕づく半次（80）

中川雨之助
西正世志畫

ソレ拔いた

喧嘩にならうなぞと、萬太郎は夢にも思てゐなかつたが、相手が餘り邪慳だから、持前の癇癪が、グツと突き上げて來た。

『あはゝゝ、こいつあ俺が惡かつた。お前今日は日雇取に彼處へ雇はれて來たのか。さうかい、そいつは濟まなかつたな。早く行つて舞台で眼を剝くなと、鼻を剝ぐなとして肥臭え娘ッ子にヤンヤと言はれるが宜いだらう』

萬太郎が指ざしたのは御堂脇の山ずその高地に幟の立つてゐる田舍芝居の蓆小屋であつた。小平次をその一座の日雇俳優に見立てゝしまつたのだ。

己れ重ね〳〵の無禮と、刀の柄に手をかける處だが、まだ其處まで侍馴れのしてゐない小半次。

握り拳で、いきなり萬太郎の横面をピシリと打つた。

『アッ、痛え、打ちやがつたな』

喧嘩はいよ〳〵油が乘つて來た。喧嘩早いのが自慢の萬太郎、つと寄つたかと見ると旣にピシリ、拳が小平次の頰へ飛んで素敵く打ち返した。

それで無くても刀を拔きたくて、ムズ〳〵してゐた小平次である。

『己れッ』

と叫んで腰の大刀、スラリと拔かうとしたが、途中で鞘につかへてなか〳〵スラリとは行かないが、兎に角拔いた。長い奴がピカピカ空に煌めいた。

群衆は白刄を見ると、雪崩を打つて混亂した。

『ソレ、拔いたぞ』

『喧嘩だア』

逃げ迷ふ女小供の悲鳴。彌次馬の殺到。田舍祭ののんびりとした光景は、たちまち變る阿鼻叫喚。十八丁の石段を、先を爭ひ逃げ下りて來る群衆の騷ぎで、お山の喧嘩は直きに坂下まで知れて來た。

その石段の兩側に、參詣人の袖の下を當込みに集まつて來た乞食の群。老いたる、若き、男、女、人間にこそ變りはないがいづれ劣りての汚なさに、その無い中に、たつた一人、別に物乞ひもせず後の方で焚火にあたつてゐる乞食、頰冠りの古手拭に顏を包んでゐるが、それは腕づく半次であつた。

騷々しい人聲。何事ならうと、焚火に手をかざしたまゝ半次は坂の上を見上げた。

其處へ萬太郎が、群衆に混つて小平次に追はれて來たのである。『そんな物を振り廻しやがつて、危ねえ人混の中だ、怪我人でもできたら、どうするんだ』

叫びながら追はれて來る萬太郎の聲が、群衆の動搖めきの中に、耳立つて聞える。

同じ香具師の仲間の連中が二三人、店を打棄つといて、ワア〳〵言ひながら、小平次の後に續いて下りて來る。

萬太郎を助けようとするのだが、相手を眞實の侍だと思ひ詰てゐるので、迂濶に手出しもならないのだ。

しかし、小平次は、眞實に、人を斬らうなんて氣はチツトも無いのだ。

斬る氣は無いが、しかし面白いのだ。萬太郎は言ふに及ばず、境內に溢れてゐた老若男女が、皆眼の色を變へて逃げ廻る、自分一人の力で、そんな騷動を惹き起したか、と思ふと、濟まぬことをしたと後悔するどころが、却つて得意であつた。

『刀さへ振り廻しや、何奴も此奴も、蒼くなつて逃げ廻りやがる、だから侍は面白え。こいつあ堪へられねえゾ』

と喜びながら、白刄を振り廻してゐるのであつた。困つた奴である。

商況　三日前場

每外經濟電報

倫敦金塊	休
倫敦銀塊	み
同　先物	
紐育金塊	
紐育銀塊	

▲外國爲替

米英爲替	三弗九〇仙〇
米日爲替	二三弗四七仙
米支爲替	六弗二五仙
英日爲替	一志二片八分七
英支爲替	四片二六分一
英佛爲替	—
米獨爲替	四〇仙〇五

▲紐育株式

スチール株	五〇弗八分一
アナゴンダ株	一九弗〇〇

▲紐育棉花

現物	一〇仙四六
十月限	九仙三〇
十二月限	九仙一六
一月限	九仙〇八
三月限	八仙九四
五月限	八仙七七
七月限	八仙七一

▲印棉

ブローチ	一六七留廿四分一
オームラ	一六四留比二分一
ベンゴール	一三六留廿四分一

各地株式市況

▲東京株式（短期）

寄付　大引　[illegible]

▲大阪株式（短期）

寄付　大引　[illegible]

▲大連株式（短期）

寄付　大引　[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿布

七月限　八月限　九月限　十月限　十一月限　十二月限　一月限　坐摩神社祭禮に付前后場共に臨時休會

▲大阪棉花

七月限　八月限　九月限　十月限　十一月限　十二月限　一月限　坐摩神社祭禮に付前后場共に臨時休會

▲大阪期米

當限 —　中限 —　先限 —

▲大阪人絹

當限 —　五月限 —　六月限 —　七月限 —

▲横濱生糸

七月限　八月限　九月限　十月限　十一月限　十二月限　現物　[illegible]

七月廿三日　火曜　舊六月十九日　丁卯　赤口　成　尾宿

東京・本郷・神誠館

●一白の人　多少の支障はありとも其に屈せず進むべし　庚と辛と東が吉

●二黑の人　歩調を亂さず自重し進むときは吉日と成る　甲と丁と西が吉

●三碧の人　吉と思ひし事も急に變化を生じ來る注意日　南と東と癸が吉

●四綠の人　初めの元氣永續せず次第に緩み勝の日たり　南と癸と辛が吉

●五黃の人　輕々しく人の口先きに乘らず自信を守るべし　丁と艮と北が吉

●六白の人　柔弱の風を生じ爲し得る事も果し得ざる日　甲と西と北が吉

●七赤の人　浮世の波はあれど圓滿を主とすれば發展す　北と南と辛が吉

●八白の人　志を大切に守り氣を他に散さぬ樣にすべし　艮と丁と辛が吉

●九紫の人　短氣を起すときは成るべき事も破れを來す　甲と丁と西が吉

大正九年十一月十二日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月一円
郵税 一ヶ月十五錢
廣告料金 普通 一行一円五十錢 特別 同 二円五十錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話③三二五・三三〇〇

發行人 十河榮忠
編輯人 和波燕
印刷人 水越内之介

星野總務長官後任に 武部六藏氏決定

一兩日中に正式發令

【東京發國通】星野滿洲國總務長官の近衛内閣企畫院總裁轉出に伴ふ後任は、滿洲國政府、關東軍その他關係方面と折衝の結果、前企畫院次長武部六藏氏に決定した▲星野總務長官の近衛内閣入閣に伴ふ後任長官には前企畫院次長武部六藏氏に白羽の矢を立て極力就任交渉を行つた結果同氏の内諾を得た、よつて滿洲國政府では直ちに所定の手續を採り一兩日中に正式發令する筈で滿洲國との緣りも深く敏腕を以て知られる同氏の總務長官就任は躍進滿洲國の前途に更に一段の光明を齎すものとして各方面から多大の好感を以つて迎へられてゐる【寫眞は武部六藏氏】

明敏果斷の"六代目"

好感こ期待の 武部新長官手腕

前企畫院次長武部六藏氏は前星野總務長官のあとを襲ひ六代目長官として時代の脚光を浴び四千萬民衆の好感と多大の期待裡に颯爽と登場し來つた、武部氏は星野前長官とは一高時代同級生として螢雪の功を競つた間柄で今更その奇しき緣に感慨深きものがある

氏が滿洲國と密接不離の關係を結んだのは昭和十年時の關東局總長長岡隆一郎氏の懇望により關東局司政部長の重任に就いたときにその萌芽を見る、然して同十一年三月長岡總長よりバトンを受け繼ぎ、關東局總長に榮轉、滿洲國政の前途を照らす唯一の點火は治外法權の撤廢にあると早くも喝破し、康德四年十二月一日を期して斷行せられた劃期的偉業たる治外法權撤廢並に滿鐵附屬地行政權移讓の難事業解決に縱横の手腕を振ひ、事なくこれを解決し

次いで昭和十四年一月企畫院次長に任ぜられ複雜多岐な日本政情の矢面に立ち、又日滿物動計畫遂行に持前の斬れ味を見せる等八面六臂の働きをなし、ここに全く滿洲國とは脣齒の關係を持ち來たつた、現下の滿洲國總務長官の椅子は極めて重要なポストであり、就中建設期の滿洲は日本とは主たり從たるの關係にあり、國政全般に亘る諸政策遂行にあたつては日本に依存する所多くかかる意味に於いても總務長官は人格識見並に閲歷からして大長官たる人材を望んでゐる際、その性明朗濶達チ密な頭腦の持主である武部氏は六代目長官には蓋し最適任である

かくして滿洲國今後の諸政策は滿洲經綸の權威者をそろへた近衛新政治體制内閣と武部氏の明敏な洞察果斷力とは相俟つて民生、開發の兩部面に劃期的飛躍が齎らされるものと各方面より期待がかけられてゐる

武部長官の横顔

武部新長官は明治廿六年一月、日本海の怒濤もすそ洗ふ加賀城下の士族武部直松氏の三男として生れた、大正七年東大獨法科の出であるが、在學中高文試驗に合格、銀時計組の俊材、卒業後は内務省屬を振出しに長崎、福岡の理事官を見習つて十二年復興院書記官に轉じ

昭和三年庶務課長、營繕局長、中央官衙復興委員など都邑計畫事業方面に相當修養を積み又文學的美術的著作權保護條約改正の帝國委員隨員といふ役名で伊太利、ブラジル等に遊び歸朝後は鈴木、犬養兩内相の秘書官と順調な榮進を續け七年六月齋藤内閣の出現で全國最年少の良二千石として秋田縣知事に轉出、縣政の建直し、身賣防止、飢饉戰線の突破等東北六縣長官のリーダーとして政黨内閣では容易に出來ない點を手際良くやつてのけ一躍男を擧げ

次いで十年關東局司政部長十一年三月關東局總長、十四年一月企畫院次長を歷任今回星野直樹氏のあとをつぎ滿洲國總務長官に榮進したものである

英艦隊撃滅へ！伊艦隊出動

（地中海）

内鮮海底隧道の 實現に努力する

村田新遞相の抱負

【東京發國通】遞相兼鐵相就任を受諾した村田省藏氏

は廿二日午前十一時大阪商船支社で左の如く語つた

すべては就任のうへ次官局長等とよく相談してやつて行きたい、海運をよくするためにはあらゆる努力を拂つてゆかねばならぬ、大體ものの價値というものは價値のあるところへ持つて行つてはじめて價値があるのでこの意味からいつても海運は軍艦と並行して發達せねばならぬ、海運を軍艦と同じレベルまで上げるといふことが自分の念願だ、電氣、航空等ほかのことは全然素人でよくわからぬが民間の關を開き役所の人々とも相談してやる鐵道の方も自分こは全くわからぬが輸送第一といふ見地からやりたいと思ふ、自分は以前から内鮮海底トンネルの實現を考へてゐたがこれは大陸政策確立の見地より是非とも必要なルートで一鐵道省の仕事といふよりも國家の仕事といふべきだ、世界に例がないからとか技術的に不可能だとかいふ前にとに角研究を重ねて實現に努力せねばならない、やらうと思つて出來ないことはないと思ふ【寫眞は村田遞相】

大阪商船社長に 岡田副社長昇格

【大阪發國通】大阪商船では廿三日重役會を開催、村田社長の遞鐵相就任に伴ふ後任社長選任を行ふが現副社長岡田永太郎氏の昇格が内定してゐる、なほ日本海運協會の後任會長には日本郵船社長大谷登氏が推されるものとみられる

擧國一體總力發揮

東條新陸相談話發表

【東京發國通】陸軍では新内閣親任式終了後左の如き新陸相談を發表した

今や未曾有の難局に際會しこれに處するには内に國内組織を整備して眞に戰時體制を完璧ならしめ外に支那事變の合理的かつ有效な處理と相俟つて敏活適切なる對外施策を展開することが急務である、これがため擧國一體國家の總力を發揮し國體の本義に基く國防國家を建設せねばならぬと確信する【寫眞は東條陸相】

内閣辭令

【東京發國通】内閣辭令（二十二日）

陸軍大臣 東條英機
兼任對滿事務局總裁

日銀駐京參事

【東京發國通】日銀は日滿金融關係の緊密化を圖るため今回新京駐在參事制度を新設することとなり廿二日右に伴ふ左記人事異動を發令した

松山支店長 有澤滋
命參事新京駐在

近衛内閣昨夜親任式

組閣着手六日目……農相は取敢ず首相兼攝

【東京發國通】組閣を完了した近衛公は廿二日午後七時宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ謹んで大命拜受の旨を奏上、恭しく閣員名簿を捧呈、陛下にはこれを御嘉納あらせられて同日親任式を執り行はせられる旨仰出された、よつて近衛首相以下各閣僚（河田新藏相を除く）は打揃つて參内、天皇陛下には午後八時松平式部長官の御先導で鳳凰間に出御、留任閣僚たる吉田海相侍立の上首相親任式を行はせられ近衛公に對し内閣總理大臣並に農林大臣に親任の勅語を賜はり吉田海相より官記を授けた、陛下には一旦入御あらせられ同九時再び鳳凰間に出御、近衛新首相侍立の上各閣僚の親任式を御擧行、茲に第二次近衛内閣は成立した

從二位勳一等 公爵 近衛文麿
任内閣總理大臣
兼農林大臣

從四位勳一等 松岡洋右
任外務大臣
兼拓務大臣

正三位勳二等 安井英二
任内務大臣
兼厚生大臣

正四位勳二等 河田烈
任大藏大臣

陸軍中將 正四位勳二等 東條英機
任陸軍大臣

正五位勳三等 風見章
任司法大臣

第一高等學校長 兼東京帝國大學教授 從四位勳三等 橋田邦彦
任文部大臣

小林一三
任商工大臣

村田省藏
任遞信大臣
兼鐵道大臣

海軍中將 吉田善吾
留任
海軍大臣

從五位勳三等 星野直樹
任企畫院總裁
内閣官制第十條ニヨリ特ニ國務大臣トシテ内閣員ニ列セシム

小林一三氏、商相受諾

【東京發國通】小林一三氏は廿二日午後五時四十五分羽田飛行場着、霞山會館で近衛公と會見、商相を正式に受諾し同六時四十分辭去した【寫眞は小林一三氏】

石黑忠篤氏 けふ東京へ

【福岡發國通】農相就任の交渉を受けて歸京の途にある石黑忠篤氏は廿三日朝門司着福岡より空路歸京することになり福岡飛行場へ豫約を申込んだ

石黑氏後任に 小平氏有力

【東京發國通】産業組合中央金庫理事長石黑忠篤氏の農相就任に伴ふ後任理事長は慣例により農林畑より推薦されることゝなつてゐるので、諸般の事情より推して元農林次官現滿洲國興農合作社並に糧穀會社理事長小平權一氏の歸國就任説が最有力である

なほ荷見農林次官の進退も注目され、同次官が辭任した時は小平氏の後を襲うて滿洲國入説と直接產組理事長就任說の兩說が行はれてゐる

書記官長決定

【東京發國通】政府は廿二日の初閣議において書記官長に長野縣知事富田建治氏法制局長官に前商工次官村瀨直養氏を正式に決定し即日左の如く發令した

長野縣知事 正五位勳三等 富田建治
任内閣書記官長

從三位勳二等 村瀨直養
任法制局長官

富田新官長

大正十年の京大出身で當年四十四歲、卒業後内務省に入り主として警察畑に育つて來たが昭和九年安井大阪府知事の下に大阪府警察部長になり内務省保安課長を經て第一次近衛内閣の末次内相の下に警保局長に榮轉したが十三年六月職を辭して六ケ月許り浪人暮しをしてゐたが同年十二月末次内相の下に再び復活長野縣知事となり現在に至つた

新體制研究會 聲明書發表

【東京發國通】新體制研究會では廿二日午後の世話人會で新政治體制確立に關する今後の具體的行動につき協議した結果、左の聲明書を發表した

近衛内閣將に成立せんとするに當り吾等は組閣の經過を觀て新體制確立の必要を痛感しその中心指導力たる新政治組織の結成を速かに實現せんことを期す

坂上水路司長

新任交通部水路司長（元内省土木局技師）坂上丈三郞氏は廿二日午後五時廿分新京驛着あじあで着任した

・・・・

前野人事處長東上 前野人事處長は星野前總務長官と事務打合せのため廿三日午前七時廿分新京飛行場發日滿連絡機で東上する

引續き案文を審議

第六回南京會議（共同發表）

【南京廿二日發國通】日支國交調整に關する條約締結會議の第六回會議は廿二日午前十一時十五分より開會、午後一時十五分散會したが、右に關し同日午後三時帝國大使館より左の如く國民政府宣傳部との共同コンミュニケを發表した

第六回會議は七月廿二日午前十一時十五分開會、前回に引續き案文の審議を遂げ午後一時十五分散會せり

作戰目的達成

鎭海方面の陸戰隊撤收

【上海廿二日發國通】支那方面艦隊報道部廿二日正午發表＝浙カン補給路の遮斷を目的とする杭州灣方面海軍部隊の作戰は去る十六日未明これを開始し艦艇陸戰隊、航空隊の緊密なる協力のもとに鎭海前面の島嶼を完全に占領し宏遠、威遠以下大小十箇の海岸砲臺を占領後悉くこれを破壞し、陸戰隊は十八日要衝鎭海に突入殘敵を掃蕩せり

以上の作戰においてわが軍は今後この方面封鎖作戰繼續に必要なる軍事施設を設置するとともに敵の軍事施設にして將來わが作戰に障碍を來す虞れあるものは悉くこれを破壞敵の再起を不可能ならしむるの處置を完了せり海軍陸戰隊は本作戰期間艦艇、航空隊協力のもとに炎熱を冒し困難なる上陸作戰および渡河作戰を決行短時日内に敵軍施設を破壞し或はわれに數倍する敵軍に對ししばしば果敢なる强襲を敢行し敵に大損害を與へたり

右により海軍陸戰隊を鎭海附近に上陸作戰せしめたる目的はこれを以て達成しわが軍としては最早陸戰隊を長く鎭海附近に殘留せしむるの必要なきに至りたるを以て本日午前豫定計畫に基きこれを撤收せり、もとより七月十五日支那方面艦隊司令長官の宣言に基く敵補給路遮斷作戰は今後これを繼續强化せらるべきは言を俟たざることろなり

米兵又暴行

青島で日本警官毆打

【青島廿一日發國通】二十日夜九時半米國水兵二名が市場三路カフェー青島で無錢飲食をなし逃走中山東路において支那人群衆に取卷かれ雙方毆り合ひをはじめたところへ日本警官四名が急行これを取鎭め派出所に連行せんとするや米國巡ラ兵が暴力をもつてこれを阻止し群衆ならびに日本警官に打撲傷を負はせた悪質暴行事件が發生した

目下日米關係當局立會のもとに取調中であるが米國側は巡ラ隊員の暴行を故意に否認せんとする不正な態度に出てをり日本側當局においては最近この種米國水兵の暴行事件が頻發してをり殊に今回の事件は制服の日本警官に對し暴力をもつて職務執行を妨害し傷害を加へたものであるから事態を重大視し强硬な態度をもつて臨んでゐる

合川を猛爆

重慶北方七十キロ

【〇〇基地廿二日發國通】〇〇基地にて支那派遣軍報道部發表＝陸の荒鷲小川、鈴木、高橋、松山、竹下、片倉等の各部隊は海軍航空隊と緊密なる協同のもとに廿二日午後三時半頃重慶北方七十キロの合川の軍事施設を攻擊し全彈命中甚大なる損害を與へて無事歸還せり合川は嘉陵江岸の要地にして軍需工場の他電氣廠および桐油工場などあり

人事往來

▲鮎澤巖氏（日本經濟聯盟會）二十二日來京ヤマトホテル
▲橫瀨花兄七氏（滿洲棉花理事長）同
▲川村五郞氏（奉天會社員）同
▲渡邊忠光氏（嫩江縣義勇隊訓練所）同大都ホテル
▲石川慶一氏（京城官吏）同
▲山根秀雄氏（奉天鐵工業）同
▲山中義正氏（吉林鑛工實務訓練所長）同松屋ホテル
▲岩尾康夫氏（奉天滿洲棉花）同
▲木村酒之亟氏（北海道敎員）同
▲三淵春治氏（大阪辯護士）同滿蒙ホテル
▲別分龍氏（奉天森永製菓重役）同
▲石田榮造氏（大連大信洋行）同
▲桐原敏雄氏（哈爾濱滿洲國通）同三國ホテル
▲谷口郞衛門氏（大阪ロート目薬滿洲地方課長）同
▲林茂次郞氏（大連藥種業）同
▲廣井正一氏（淸津宮本商店）同

日本の革新動向に 滿洲經濟界對應

近衛新内閣は略々閣僚の決定を見、殘る商工、農林兩大臣には小林一三、石黒忠篤の兩氏が確實視されてゐるが、滿洲經濟界では新内閣出現後の日本經濟の動向に關し新内閣の對外政策及び對内政策に於て想像される相當劃期的な革新政策に思ひを致して大體左の如き觀測を下し滿洲經濟界としてのこれに即應する體制及び運營に關し方策を練りつゝある

一、對外政策の轉換　傳へられる獨伊樞軸關係の轉換がどの方向に向つてまたどの程度に行はれるか疑問であるが、何れにせよ對外關係に於て旗幟をより鮮明化する場合は特定國との貿易關係に變調を來すは必定でありその結果は日滿支アウタルキーの強化に赴くであらう

一、統制經濟の強化　拔本的戰時經濟の確立は最近數代に亘る内閣の成立當初に於て毎回希望されながら現實には種々の行懸りから完全の實行を見なかつたのであるが、現在の政治的經濟的情勢よりみれば今回の内閣更迭に依つて相當思ひ切つた革新政策の實施が期待される

一、大陸經濟との連繫　東亞新秩序建設の步を進めつゝある現時日本に於ては大陸問題に通曉した人物が行政の衝に當るべきは當然であるが、近衛内閣の顔觸れを見れば星野直樹氏の企畫院總裁を始め東條陸相、松岡外相就任等全般的には滿洲に關係深き觀があるが樞要經濟閣僚たる大藏、商工農林には直接大陸に經驗なき閣僚の決定に一抹の寂寥を感ずるものの現下内外の情勢に處して新内閣の經濟政策が大陸經濟との一體化を顯著に示さざるを得ざる時勢にありその諸施策、諸計畫が大陸との連繫極めて緊密化するは必須とみられる

右の結果日滿支アウタルキーの強化はその中に於ける滿洲産業の重點的地位を更に加重する一方日本に於ける統制經濟の強化は滿洲經濟の日本への協調をより可能ならしめこれ等と綜合して一體化せる日滿支經濟圏の中に於ける滿洲經濟は困難なる中にも輝かしき步調をとるであらうとしてゐる

新内閣の方策はおのづから相當劃期的な革新を目指すであらうことが豫期されるが先づ對外政策である獨伊樞軸關係の一步前進は必ずや行はれることであらう。この場合先づ變化が起るのは貿易關係である。そしてその結果は必然的に日滿支アウタルキーの強化とならざるを得ぬであらう。日本國内に於いては相當に統制經濟の強化が實行されるであらう。それは事變の速かなる處理のために、また現下の國際情勢に對して確固たる備へを持つて行くことからも必要不可缺であると考へられるのである。

× ×

新内閣の閣僚に大陸の實情に通曉した人々を多數見出し得ることはわれらの大いに心強く思ふところである。内外の情勢よりしても、新内閣の經濟政策が大陸經濟との一體化を顯著に示さねばならぬ時期にあるのである。諸施策諸計畫に於いて大陸との連繫が極めて緊密化することを待望すべきであらう。そしてこの場合、日滿支アウタルキーの強化といふことのうちには滿洲産業の重點としての地位が更に一層その重さを加へることになるであらうと思ふ。それは一方からは日本に於ける統制經濟の強化が滿洲經濟の日本への協調を一層圓滑に可能化するであらうと考へられるのである。そしてこれ等々綜合して一體化した日滿支經濟圏の中に在つて滿洲經濟は種々の困難は持ちながらも、なほ誤ちなく輝かしい步調を辿るであらうことが豫測される。

× ×

最初に行はれた内定四相の會談に於いてどのやうな方針決定が持たれたかはまだわれらの前に明らかではない。しかしそれは當然に最も近い將來、種々の部門に於いて實現されて行くであらう。われわれはそれらを綜合して理解せねばならぬ。

從來の政策を再檢討 統制政策强化へ ―河田新財政政策―

【東京發國通】近衛内閣の重要政策の根幹が世界新情勢に對應すべき東亞安定權の確立、事變處理の强硬遂行過程に横たはる諸問題の解決などを樞軸とするものであるため近衛内閣の當面する財政經濟政策はこれらの線にそふ性格のものたるべきは勿論であり河田新藏相としては

一、先づ第一に賀屋財政以來展開されて來た財政經濟政策に關する根本的再檢討が加へられ全體的視野に立つて刷新されたる財經政策を確立する

二、しかし新事態に對處する財經政策の基本方策の樹立に際して急激なる政策の急轉廻をとることは微妙なる經濟界全般に對し混亂を惹起するが如き結果を招來しないとも限らないのでこの點については河田新藏相としても充分留意し政策の修正と建て直しに當つては經濟情勢と照應し急激な改善はこれを避け可能なる限り摩擦を回避しつゝ步一步健全確實なる新財政政策の展開を期する

三、以上の基本的方針のもとに出發するため場合によつては總動員法中の財政經濟關係法令の全面的發動を行ふの基本方針に基き惡性インフレの防止、公債の消化、資金金融統制、經理利潤統制等の諸政策については差し當つて更に一段と强化策がとられ場合によつてはその强制化さへも實施されるものと豫想されてゐる

手腕に期待

【東京發國通】東亞經濟自給圏の確立を目標とする第二次近衛内閣の性格に鑑み金融界においては金融諸統制の再編成强化は不可避と觀測され、これが實際的運營如何に付重大な關心を拂つてゐたが河田烈氏の藏相決定は財界の警戒人氣を拂拭し同氏の財政金融に關する手腕に期待を寄せてゐる

大連金融界 河田氏に好感

大藏大臣に河田烈氏決定の報に大連金融業者は意外の感を抱いてゐるが、その意見を綜合すれば左の如くである

聊か豫想は外れたが河田氏は大藏畑では可成りの先輩であり、その人物も大きく且つ財政的手腕にも勝れてゐるから日滿支三國の金融を危くする嫌はなく高度國防財政上經濟統制强化の完遂に遺憾なきを期し得るものと期待する、併し河田藏相の就任は最も急激な變革を忌む金融界として日本の財政を知悉する河田氏により妥當なる政策を實施するであらうとの意味から歡迎するが滿洲關東州としては金融政策においては日滿一體化を實現するやう熱意を持つて貫ひたいと切望する、なほ小林一三氏の商相就任に關しては實業界の大立物である同氏の就任が實現すれば米内々閣の藤原商相の存在の如く實情に即して適切なる商工行政を行ふであらうと期待してゐる

即ち從來においても日銀を中心とする金融統制は相當高度に達してゐるがこれが豫算、生産擴充、物動等物資關係の諸計畫が有機的綜合的に立案實施せられざる限り金融界に摩擦動搖を來すのみでこれを肯定し得ないとして警戒人氣を持してゐた、しかるに新藏相は名うての豫算通であり今後の具體的諸問題たるインフレ抑制、日滿支生産力の統合的擴充を緊要とする現段階に於て金融機關の國家公共性は昂揚せられこれら諸問題の處理方策としても經濟實情、經濟力の原動を考慮して最も適切なる措置が要望され又國防豫算の編成實行に對しても同氏に期待するところ頗る大である

滿洲鑛山會社 二期計畫原則的に中止

滿洲鑛山會社では今秋各鑛業所における第一期建設計畫完成後はこれが既設々備の充實に主力を注ぐ傍ら餘力をもつて引續き第二期擴張計畫に着手する豫定であつたが、緊縮政策による資金、資材の窮屈化に鑑み今後は金、銀、銅、鉛、亞鉛、アンチモニーの何れを問はず全面的に第二期擴張計畫を中止し既設々備の急速なる完成に邁進することゝなつた、但し旬日を出でずして第二期計畫を完成せんとしてゐる青城子鑛業所（銀鉛鑛）及び既に第二期計畫に着手可成り工事の進捗を見てゐる倒流水鑛業所（山金）は從來通り建設計畫を續行、これが完成を期することに今後の事業方針を決定した

而して昨年度下半期より開所した牛心山、（金）岫南（金、銀、銅、鉛、亞鉛）および酒金溝（金）の各鑛業所では目下探鑛並に土木工事を繼續中であるが、その結果有望性が確認されゝば直ちに第一期建設計畫に着手する豫定である

奉天省に於ける 特用作物の現況

歐洲動亂の進展は益す纖維物資の輸入を困難ならしめ日滿ブロック内の自給自足は益す要望されるに至つた滿洲特用作物地帶たる南滿もかゝる日滿兩國の要請を織り込んで棉花、ケナフ等纖維作物をはじめ所謂特用作物の作付增加は自然、社會機構兩面の惡條件を克服して强行せられつゝある、增産五ヶ年計畫第四年度たる本年は播種期當初においては主要糧穀の需給不均衡から特用作物を忌避、主要糧穀の栽培に向はんとする傾向が濃化するに至り、作付奬勵の實際的衝に當つた係員の努力にはなみなみならぬものがあつたが、次のやうな條件も備つて本年の計畫面積を確保するを得た

一、例年に比し氣候順調であつたこと

一、主要糧穀の蒐貨に省が本格的に乘出し、一方糧穀の本出來秋は豐作の見透しが次第に鮮明化して來たこと

しかし今後雨期を控へてをり危機は全く拂拭されたわけではないがそれにもまして根本的な問題は收買價格の適正化である、事變以來物價の急騰に伴つて年々收買價格も僅かながら吊上げられて來てはゐるが、依然として工業商品とのシエーレは一向緩和されてゐないのでこれが解決が增産問題解決のキーポイントであるこれがためには農家必需物資配給ルートの確立を急速に實施するとゝもに、農家收入と農家必需品價格の均衡が保たれることが根本的施策である奉天省としても最近は着々と生産物價（就中特用作物價格）と他物價との不均衡の是正合作社機構を中心とした農村配給ルートの整備に農業政策の方向を進めてゐる以下は奉天省特用作物中主なるものについての現況概要である

△棉花　奉天省下現在の棉花收買價格は（日斤一〇〇斤）復蓋平縣等の改良陸棉一等二十七圓八十五錢を最高に康平法庫等の在來棉五等十圓六十五錢までで、これに對し二年前五年度現在の生産費が平均十六圓七十錢見當であるからこの二年間の實際生産費昂騰を參酌すれば棉作農家の生計が窮屈化してゐるのは間違ない、しかして上記收買價格は昨年九月一割、本年二月一割五分と昨年から二割五分も上げられたものであるが、それにも拘らず諸物價昂騰の步調には追つけない農村へ流入する物資は從來配給機構の不備からすべて闇取引されてゐたからである、しかし昨年全滿の棉花實績は二十萬ピクルであつたが本年は四十萬ピクルを豫想せられるに至つてゐる、全滿產額の約半數を占める奉天省の棉作狀況も概ね氣候順調に推移してをり增產が期待されてゐる

△甜菜　甜菜栽培は康德三年精糖會社がシン陽新民縣下に試作せしめたが康德五年奉天省が鐵嶺縣下に奬勵してより作付割當の積極的增產に移行現在は割當制が實行されてゐる、省下栽培面積は六千町步本年は約八〇%の作付を了した、收買價格は昨年滿斤一〇〇〇斤六圓六十七錢であつたが本年度收穫分に對しては五割値上げの十圓となつてをり更に

一、政府、會社折半による種子肥料代の支出

一、政府の運搬費病虫害豫防藥劑費の補助等を以て增產奬勵を進めてゐるが栽培者側よりはも災害補償、價格値上が陳情されるので、奉天省では本年度の實績如何では八年度より作付の强制割當に再檢討を行ふことゝなつてゐる

△ケナフ　奉天省の作付開始は康德四年で本年度の計畫面積は一萬五千陌であつたが實際作付は計畫を遙に凌駕し二萬陌程度となつた本年の發芽は稍々整、五月多少雹害に見舞れたが例年に比し災害少く相當の收穫が豫想せられてゐる、收買價格は日斤一〇〇斤一等康德四年十八圓であつたが昨年は二十五圓に上げられてをり今秋は右價格を越すものと見られる

△煙草　康德三年復、海城、蓋平遼陽に栽培を始め、本年は昨年の實績面積四千八百陌に對し倍作を實施した、奬勵品種はホワイトバレー、黃色種の二種としてゐる收買價格は四月農家より二、三割引上要求であつたが最近は更に三、四割を要望してゐる、氣候は苗床時期に雨量多く病害も散見せられたが概ね順調であつた

滿洲國の最北端 黒河から漠河へ

四　池部幸雄

吾等の乘つた艦は一時も休む時なくエンヂンの響を立てゝ滿洲側を通つたりソ聯側間近を通つたりして進んで行く、と言ふのは此處では兩國の船舶とも其の最深部を航行してゐるのであつて、其の航路標識が兩岸に立ち船は標識から標識へとその間を結びながら行くからだ、滿洲側の標識は眞赤ソ聯側は眞白だ、どうも此の色別は逆な樣な氣がする、向ふ岸近く通る折などみんなでハンカチ出して振つて見るが小さな子供にまで見向きもしない、こんな時は此の河が國内河川であるか又は滿蘇兩國が修交關係と結んでゐたらお互に手を振りながら愉快な旅も出來るだらうにとつくづく思つた。殊に夜碇泊する折など對岸に部落でもあるとその感が益す深くなる何時かはそんな時も來るだらう、そしたら國境の旅も愉快に出來る樣にならう、ソ聯側近くを通れば跳釣瓶の井戸があつたり又其の昔革命前には日曜毎に賑つたであらう教會の建物が今は尖端の十字架をもぎ取られてその代りに赤旗が掲げられてゐるのなどが見受けられる、ソ聯側の監視は實に嚴重そのものだ。赤旗を掲げた各地の監視所には國防色の軍服に綠色の軍帽を冠つた兵が二、三名宛上つて常に監視を續けてゐる、吾々が望遠鏡で向ふの監視兵を見てゐると向ふも亦吾々の方を見てゐるソ聯兵の中には若い者がゐるかと思ふと隨分年とつた樣な者も混つてゐる、監視所は部落は勿論部落と部落の間にも澤山ある、何れも日本の火の見櫓のやうな建物で、それに赤旗を掲げ監視兵は常に滿洲側や河の上、下を眺めてゐる、部落には又必ず兵舍がある、部落で一番立派な建物はやつぱり兵舍だ、又何物だらうと思ふものが黒河を出てからしばらくの間數知れず山の上、谷間と所選ばず設置されてゐる、最初はトーチカでも其の中で造つてゐるのかとも思つたがそれらしくもない、或は何にかの僞裝の爲のものかも知れないその園の中には時には兵隊らしい者の姿も見えるが大部分は何んにも見えぬ、土地の人に聞いてもはつきりした事を敎へてくれない處を見ると土地の人にもはつきり分らぬらしい。

初めての日であり、邊りの物がみんな珍らしかつたので暑さやアブもかまはずに終日太陽の直射を受けたら一日で眞黒に陽やけしてしまつた。

朝八時に出た艦は十八時三十分やつと三道卡に着いた。

部落に着くと直に國兵法の宣傳が始まる、住民は前以て集めてあつたので係員は之等の住民に國兵法の何たるかを說明し子供達には紙芝居等を用ひて說明すると共に慰問品を配り後は軍艦見學、映畫見物で宣傳工作は終る、かう言へば簡單な樣であるが殊に映畫などは何等の設備もない野天でやるのだから第一暗くなるのを待たねばならず、それが新京と違ひ十時になつても明るく、いざ始めると言ふ頃は大體二十三時頃になつてしまひ、終了するのが午前一時頃で係の人は最初から隨分苦心してゐた樣だつた

夜滿月かと思はれる樣な大きな月が原始林の上に昇つて來たがそれがソ聯の山から出て來たのでどうも借物の樣な氣がして何時も見る月の樣な感じがせず妙な氣持だつた而し夕暮の國境の氣分も亦いいものだ一種獨得な此の水の色に映る太陽の光線は本當に黃金色の波を見せてくれる、その波が徐々に消えると太陽は既に沒してしまつて西の空一面眞紅になり其の中に友艦の姿がぼんやり見えて泰西名畫でも見てゐる樣だ。

二十日は八時に三道卡を出港、一路呼瑪へ向つた、出港とは言へ港があるわけではないから只岸を離れる丈の事である、八時に出港となれば七時半頃から既にエンヂンは活動を開始する最初の中は此のエンヂンの音が一日十時間も間斷なく響いて來るので閉口した、が馴れて來るとそれ程氣にもならなくなつて來た。

三道卡を出て間もなく下航して來る江運局の船と初めて出會つた、此の河では航行中行交ふ船は何れが先か其の點はつきりしなかつたが白旗で合圖しながら動いてゐる、或は積荷等の關係から思ふ樣に自由に出來ない船の方から相手に船路を指定するのかも分らぬ、商船の客は殆んど苦力ばかりだ、今日は早朝から何處からともなく澤山のアブが出て來て困つた、こんなにアブがゐるなら北滿の夏の旅には「アミ」でも持つて來て頭から冠らねば旅行も樂には出來ないと思つた。

昨日、今日と二日間溯航して見るに、兩岸の景色はそれ程の變化もなく旅其のものが段々單調になつて來る樣に思つた、時たま部落があつたり、筏に會つたり商船と行違つたりはするが之又既に興味を失つてしまつたので只ボンヤリ甲板の上で望遠鏡片手に立つてゐる丈である、兩岸は相變ず泥柳の島と五十米前後の山が河岸迄迫つて來てゐるかと思ふと又谷間の畑が見えて來る。

終日嫌なアブに攻められて十八時に呼瑪着、上陸する頃から雲行險惡となり大雨でも降りはしないかと心配しながら街を步いてゐたら半分も見物せぬ中に遠くに稻光が始まつた、縣公署及何年か前に科學者達が日蝕觀測した場所を見度いと思つたが縣公署迄行つたら周圍が眞暗くなり今にも大雷雨になりさうだつたので碼頭迄七、八丁も走りやつと艦に着いた時雷鳴と共にドシヤ降りになり遂に觀測所の跡は見る事が出來なかつた、此の街の建物は殆んどロシヤ式の建物ばかりである、三道卡にしても呼瑪の街にしても通りの名は實に立派な名前がつけてある例へば三道卡の江沿街だとか呼瑪の中央大街だとか併し其の名實の伴はないことと言つたらお話にならない此處の工作は降雨の爲相當困難らしかつた。

金魚酒

▼人間技と思はれない程のねばりをもつて長い間滿洲國總務長官の椅子に坐つてゐた星野直樹氏はたうとう懇望せられて日本の内閣に去つた▼その後任には早くも數人の候補者があげられて居り、要件として經濟に明るい人、現地の事情に精通してゐる人、大臣級の人物等要望せられてゐるが▼この際是非共强調して置きたいものは事務的技術的長官より寧ろ高邁なる政治的識見を有する魅力ある大物をすゑてくれといふことだ▼つまりこの國の政治に眞に責任をもつて當つてくれる人物がほしいのだ▼星野長官はまれにみる努力の人であつたが然し興農合作社問題、農産物値上げ問題、儲資金の調達問題等々責任の歸趨について未だ多くの不滿あるを如何とも爲し得ない▼長官に大物をすゑて滿洲國を責任政治の常道に迄成長せしめよ、これが筆者の主張だ

商況 三日後場

各地株式市況

●大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	二九七	二九八
大新	六八二	六八二
新東	一三四二	一三四〇
滿業	七八三	—
鐘紡	一三六一	一三六〇
同新	九六五	九六五
滿鐵	七六〇	—
土木	—	—
豆新	—	—

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	一三三五	一三三八
滿業	—	六八五
大新	—	—
鐘紡	—	一三五四
同新	九六二	九六一
滿鐵	七六三	七六三

手形交換高（三日）　一五六五　以　五、六八三、六四六圓

家庭

時事解説

佛國敗戰の一原因

▽…佛蘭西があのやうな敗戰を喫したのには色々の理由がありませうが、保守的であり、現狀維持一點張りであつて、自己の現勢力を過信する一方、國外の情勢を知り時代の進運に乗ることを怠つたことも否まれません。

▽…獨逸、伊太利では個人的營利主義、安易生活に戀着せずに、新しい國家思想、民族意識を植付けたのであります。佛蘭西では五十歳以上の老年勞働者に國家より恩給を給與するといふ法律案などを喧しく言つてゐたのでありヽす。人民戰線時代には一週四十時間勞働制や、勞働者の職能的良心の不充分による能率低下により、たとへば飛行機製造能力の如きは一個月三、四十台（或る月には十台に落ちたといひます）となりました。（この間獨逸は一ケ月約三百台と言はれてゐました）要するに佛蘭西は第二次大戰開始前の期間に個人の物質的享樂を重んじ過ぎてゐたのであります。

この間、接壤國の獨逸、伊太利は個人の安樂を全體の利益のために犧牲に供してでも仕方がないとして劍を磨き爆藥を乾してゐたことを注視せねばなりません。

面白い程たまる 絶對受合ひの方法

思ひつき貯金

○……國民の勤儉儲蓄の美風を涵養徹底させ富家强國の實を……○
○……擧げようと、滿洲國では來る二十二日から全國一齊に……○
○……「儲蓄强調週間」を催し、八億儲蓄を目標に四千萬國……○
○……民に力强く呼びかけることになりましたが、かねてか……○
○……ら非常な熱意を以て家計の合理的緊縮と儲蓄の實踐に……○
○……つとめてゐる新京友の會の會員達はこの催しに呼應し……○
○……て「無駄無し生活」と「二割八割儲蓄」の實行を期し……○
○……ようと大變な張り切り方です、二割八割儲蓄といふの……○
○……は平常の月の收入はその二割を、賞與はその八割を儲……○
○……蓄するの意味です……○

新京友の會員の家庭に付き見ますと月收二百五十圓前後といふ家庭が一番多く、この中から毎月その二割の五十圓を儲蓄するといふことは決して容易ではないやうです

この難かしい二割儲蓄をどうしても實現させなくてはといふので會員たちがそれぞれ工夫研究して實行してゐる「思ひつき貯金」にはなかなか思ひつきなものがありますからその二三を次に御紹介しませう

△…頂き貯金＝他家から物を頂いた時、それを適當な價格に評價しその三分の二乃至三分の一の値段で買つたこととして家計簿の適當欄に記入し、そのお金を貯金する、海苔鑵詰、菓子のやうなものから家具、身廻品等まで入れるので三分の一位に見積つても一年には相當な額に上る

△…つもり貯金＝バスに乘つたつもりで歩く、二等に乘つたつもりで三等で我慢する、その金を貯金する

△…スタンプ貯金＝これは御主人の協力を必要とする、例へば御主人が珍らしい土地へ出張された時或は家族づれで旅行でもする時、還つた土地土地の郵便局で五十錢づつでも一圓づつでも郵便貯金にする、還つた土地土地の新しいスタンプがその旅や出張の思ひ出を豐富にしてくれる、幾分かロマンチツクな、でなかつたら少し蒐集癖のある人なら至つて手輕に確實に出來る妙案である

▲…再生差額貯金＝友の會では衣類や身廻品等の新調を出來るだけ見合せることにし、古い物を更生して間に合はせる方針をとつてゐる、これを再生するのに洗濯代、材料費仕立賃等を要する場合はその品物の適當な評價格から右の實費を控除した差額を貯金する

▲…勤勞貯金＝字の通り自分の勤勞によつて豫算外の收入があつた場合に貯金に繰入れる、直接收入でなくても例へば自分の作つた野菜や果實などを他家に手みやげとして持つて行く時には、それを適當な價格に見積つて交際費の欄に記入しその金額を貯金する

▲…繰越し貯金＝毎月の初めに家計簿をつける時、繰越額に端數がつくと計算が面倒になるのでこの端數だけを貯金に繰込む

以上のやうな方法は工夫と心掛次第で思ひがけないほどの貯金を產むので最初から月收の何割とか何圓とかを天引き式に貯金するよりも興味が多いやうである

冷麥は涼しく美しく
＝……變つた戴き方……＝

どこの家でもよく冷麥や素麺を用ひますから見る眼も清々しく美味しい戴き方を申上げませう材料は十人前として冷麥大東二把（又はこれに相當する素麺）白玉粉大袋（五十匁）青紫蘇十枚、大根半本、鰹節の削つたものコップ一杯味淋一合醤油一合二勺白砂糖小匙一杯食紅少々を用意します

まづ鍋に水五勺を煮立て鰹節を全部入れ二三分煮て上に浮いた泡を掬ひとり、味淋を加へ火を弱くして三十分位煮詰め、次に醤油を加へて二三回吹上つたら火から下し、布又は絹篩で漉して冷まして置きます、大鍋に水一升二合位煮立て、冷麥をほぐし乍ら全部入れて菜箸でかき混ぜ、煮立つて泡が浮いで來たら掬ひ取つて冷麥の色が半透明になるまで（約十分間）茹でます茹上つたら笊ごと上からザアザア水をかけてよくゆすぎ、冷まして置きます白玉粉はどんぶりにあけ摺こぎでよくつついて潰し熱湯一勺と水溶きした食紅少量をたらしてねばりの出る様によくこねます、鍋に水一升を煮立て白玉粉を千切つて小指大にまるめ乍ら落し浮上つたら孔杓子で掬つて冷水にとります、青紫蘇はよく洗つて細くセンに切り大根は卸して輕く絞つておきます

全部出來上りましたら涼しさうなガラス器か深皿に冷麥を入れその上に淡紅色の白玉團子を載せ、前に作つて置いた汁を別の小丼に入れて侑めます、酢のお好きな方にはこの汁の代りに煮切り味淋と醤油を等量に割つた三杯酢を添へても結構です

脱毛劑に注意
・・・皮膚の强弱を確めて・・・

夏は輕快な服裝が好まれるだけに、脱毛クリームが盛んに用ひられますが、脱毛クリームは皮膚の强弱をたしかめてからお用ひにならないとかぶれませう、從つてお顔にはなるべく用ひない方がよろしいのですがどうしても用ひる場合は耳朶の後ろなどに少しつけてみてピリついたりブツブツが出來るやうでしたらお止めにならないといけません

ボタンのつけ方

洋服、シャツなどのボタン

食慾をます王ねぎ

◇…夏季は一般の食慾が減退し、そのため食物調理上いろいろの工夫がめぐらされます、例へば生薑や胡椒のやうな香味料を巧につかつて、その目的を達することがありますが、しかしこれ等は何れも成分的には何等榮養効果がありません

◇……玉の中には硫化アリールといふ成分か含まれており、これは刺戟性ある特異の臭をもつてゐるところから之によつて葱類は一般に食慾を增進しまたしばしば肉類や魚の臭味を消し、これを美味にするために用ひられます

家庭メモ

肉の煮燒について

肉類を美味しく煮燒きする場合には鍋を火にかけて相當に熱した頃を見計つて肉を入れ肉の表面を凝固させれば榮養分も失はず臭氣も少ないのです、併し煮汁を美味しくするためには汁の冷たい中から肉を入れて肉に含まれてゐる味や榮養分を溶け出させる事です、つまり熟した所へ肉を入れると表面の蛋白質が急に硬化して肉の成分の溶け出すのを防止する譯です

食品科學

よく熟したのこそヴィタミン豐富

只今トマトが出盛つてきました、トマトはヴィタミンA、B、Cを多量に含み、その酸味は林檎酸や枸櫞酸のためですが庶糖葡萄糖、果糖等も相當に含有してゐます、此酸味は消化液である唾液の分泌を多くし食慾を增進させる効能を持つてゐますから夏の食品としてトマトは理想的なものです、又トマトの赤い色はコピンといふ色素とヴィタミンA、Bのためで新鮮でよく熟したもの程ヴィタミンが多いので未熟の中に採つて赤くなつたものと熟してからもいだものとではヴィタミンの含有量か大變違ひます、このトマトの榮養分を完全に攝るのには生のまゝ鹽または砂糖をつけて食べるのが一番で幼兒には汁を搾つて與へます、尚トマトの赤いのは英國種、ピンクのは米國種、黃色のは雜種ですが、臭氣を嫌ふ方は比較的臭氣の少ない黃色のものがよろしいでせう。

野菜屑を利用
キヤベツ巻

野菜でも何でも腐り易い時季ですから使ひ殘りの野菜など始終氣をつけて腐敗しないうちにうまく利用しませう、そんな意味で玉ネギ蓮根、隠元、ネギ等有合せの野菜を用ひたキャベツ巻の拵へ方を御紹介しませう

先づこれらの材料を微塵に刻み挽肉或は白身の魚の擂つたものを混ぜ合せ、つなぎに片栗粉少量と卵を入れ鹽、胡椒で味を調へ適當の大きさに丸めておきます

別にキャベツを熱湯に通してやはらかになつたら一枚づつ剝がし、固い骨の部分を削りとり丸めて置いた團子を恰好よく包んで、干瓢を水に浸して軟くしたもので解けないやうに結びます、これを鍋に並べ出汁をたつぷり加へて火にかけ暫く煮込んでから砂糖、鹽、醤油で味をととのへ軟かに煮上げます

齒痛と田虫
〃簡易療法〃

針で無數に穴を明けた半紙をコップの上にひろげその上に米のヌカをおき火をつけます、とコップに油が出來ますそれは齒痛と田虫にとつても効果がありますからお試し下さい

一寸したことですがお試し下さい

デパートに萬引を訊く
上流婦人の病的犯行や
絨氈を持出す圖太い奴
滿洲の萬引には同情の點なし

新京の某百貨店で專らその方面の監督に當つてゐる某監督氏の話をそのまゝ

「萬引ですか？一日十件内外、多い日は二十件にも上りませうが、大半は滿人で次が鮮人、日本人の萬引といふのは平均一件有るか無しですね でもどうかするとこれはと驚くやうな花はづかしい妙齡の娘さんが萬引犯人だつたりすることも有ります、滿人や鮮人には常習犯が多く、殊に滿人には二人三人と組になつてやる計畫的なものが相當あります、斯ういふのになるとちやんと店員の配置や方向などを考慮に入れて、ちよつとの隙を見て機敏にやるのですから全く油斷かなりません、單獨でやるのにもなかなか大膽なのがゐて、贓品を便所などに持込んで風呂敷に包み何喰はぬ顔でブラ下げて逃出すのもゐます

常習犯は最初から品物を金に換へやうといふ手合が多いので勞ひ金目の物をねらひますが、新米は一寸したシガレツトケースだとか靴下だとかいつたものが多いやうです、それに新米ですと小さい物一つ盗るにも何だかオドオドした樣子があり、一旦盗つてしまつた後は一層不安さうにキヨロキヨロしますから態度ですぐ判ります

ところが馴れたのになると盗ることもすばしこいし、盗つても平氣な顔でシヤアシヤアと他の買物などしてゐます小さいものどころか、どうかすると鞄だの絨氈だのいふやうな大きな物を濟ました顔で抱へ出す樣な圖太いのもありますこんな大きな品物になると店員もまさかと油斷かありますし又堂々と運び出されると却つて誤魔化されてしまふのです、勿論そんなのに限つて皆相當の身裝りをしてゐるのですから、ある程度確かりした根據でも無ければ矢タラにとがめ立ても出來ないわけです

アレッ奇つ怪な……

日本のデパートでは貧に迫られての萬引など事情を訊いて見ると多少同情の出來るのも無いではありませんが當店で取調べた日本婦人にはそんなのは一人もありませんそれどころか七八割までが相當の地位にある裕福な家庭の奥さんで、自分の財布には何十圓と纏つた金が入つてゐるのに取るにも足らぬ一寸したものに手を出すのです、大抵は月經時の病的な發作に因る犯行で、品物も旦那さんのネクタイとか子供の手袋とか身近な家族のものが一番多いやうです、それに較べると普通中流どころの奥さんの萬引といふのは滅多にありません、所謂中堅で、中流の奥さんの方が上流の奥樣連より意志的に鍛へられてゐるのかも知れません殊にいゝ家庭で旦那樣があまり發展されるためにヒステリー氣味の奥樣に得て萬引が多いなんてどう考へても恥曝しですね

勿論こんな婦人方に對しては、公衆の面前で恥をかゝせるやうな事は致しません、その場は默つて見過ごしておかへりのころを出口で「一寸あちらまで」とやるわけですがその時の周章ぶりはお氣の毒とも何ともいへませんほんの一寸の出來心からの始末書をとつた上いましめる程度にとゞめ充分訓誡を與へて將來を戒めますが常習者に對しては勿論假借なく警察へ引渡すことにしてゐます

滿洲のデパートでは大抵どの店でも日本人と一緒に數名の滿人を監視させてをりますが、日本人の監視だと注意して手を引こめる人でも、滿人には油斷するのでせうか、屢々萬引の現場を滿人に見つけられる日本人もあつてその度に私共まで恥かしい思ひをさせられます

こんな奥さんが危い

7月23日

笑顔の殺人！

思ひ出し笑ひ見たいな此の實にもクスグッタイ五十鈴ちゃんの笑ひ方はどうでせう、斯う氣分を出されて良がられるといよいよ以てたまらなくなりますな、笑ひ方にもイロイロとあつて「笑ふ門には福來る」なんて申しますが此の笑ひ方はまさに殺人的、罪な笑ひ方と申すものです、幾らあの日あの時の事を思ひ出したと言つたところで良くもまア此んな顔が出來たもの、ワァイ！コンチクショウと氣の弱い奴は死んでしまひたくなつちまふ樣な艶めかしい「蛇姫」お島樣の山田五十鈴のゑがほ

娯樂

新映畫評

幡隨院長兵衛

底の淺い時代意識 由比正雪は噴飯もの

此の

種の映畫を見ていつも不滿を覺えるのは當時の本當の町奴の姿、旗本奴の姿が一向描かれてゐないと言ふこと、またそれ以上に描かうとする努力をしてゐないことだ、いつも乍ら講談雜誌程度の解釋しか加へられてゐないのには顰蹙する、此の映畫では町奴全體の滅亡を救ふために自分の身を殺さうと決意した長兵衛（河原崎長十郎）水野邸乘り込みの覺悟を描いたものであるが長兵衛一人の死によつて簡單に町奴全體の存立を許して貰はうとする長兵衛の考へ方が一向に譯が解らず不得要領とも愚かしいとも考へられる

言は

ば長兵衛が死ぬことによつて伊豆守の同情を得ることが長兵衛の死の本願である樣にこの映畫では解釋されてゐるが此の解釋の仕方は一向に感心いたしかねる、何故ならば長兵衛の死は町奴の存立を救ふことを意味せず反對に町奴の崩壊と壊滅とを早めることが見えすいてゐるからである、之では長兵衛の死が無意味以上に馬鹿げてゐると言はれても仕方がない、而も何故水野を盟主とする無頼に等しき旗本奴を使嗾して弱い市民階級の町奴を滅亡させなければならぬかこの伊豆の高等政策なるものが正體不明である

町奴

の中に不平組浪士ありとし町奴の後楯に外樣大名が糸を引いてゐると言ふ風に説明してゐるが悪いのはあくまで旗本奴で町奴を危險視しなければならぬ理由は毛頭描かれてゐないのである、町奴旗本奴兩派を懷柔する伊豆の政治的方策の此の不可解さが何よりも後味が悪い、もつとも之を説明するために由井正雪や浪人者などを引つぱり出して當時の何か穩かならぬ時代相を描かうとしてゐるが、斯うした部分の見えすいた作り物的な説明の仕方には苦笑を覺ゆるだけである、曰くあり氣な浪人者の存在も結局無意味さはまり、碁を圍んで長兵衛と浪人者が對座するあたり間のぬけること夥だし

由井

正雪（千田是也）に至つては噴飯もの、結局長兵衛の氣持を仔細ありげにひねくり廻してゐるだけでそのポーズが馬鹿馬鹿しくもあり、そのながながとした描寫には退屈するだけ

演出（千葉泰樹）脚色（山本嘉次郎、吉田二三夫）共に同罪と言つたところ、暫右衛門の水野はこの人としては失敗である、藤森成吉の原作がこの程度のものかどうか知らぬが此の映畫が成功するためには伊豆の政策にもつと重點を置きそこから滅びなければならぬ町奴の運命を描くべきであつた失敗作、帝キネ上映中（寫眞はその一場面（菅）

スター共倒れ！ 京都各社大悩み

京都の各撮影所はスターの病氣續出に悩まされてゐる、松竹では一ヶ月振で退院した高田浩吉が「浪花女」と併行製作の豫定だつた「宵夜待」は、浩吉が病氣再發し、熱海で靜養中なので中止し、同人主演作を拔粋する歌謠集大成「浩吉歌双六」を編輯することゝなり、八月以降のスケヂュールも再編成中であるが、日活は寛壽郎が七、八月休演で「ごろつき船」を中止、阪妻の「風雲將棋谷」も、大楠公富士ロケで胃腸をそこね休養中なので、阪妻なしの場面のみを撮影中の他新興でも淺香新八郎が赤痢で入院中である

風車

◇…滿洲演劇聯盟をつくるといふ話は、その後どうなつたか、筆者は知らない。たださういふ動きがあつたことは知つてゐる。そして一部事情を知らぬ側で創立早々の滿洲演藝協會と仕事が重複乃至衝突する點がありはしないかといふやうな心配を持つてゐたといふやうなことを聞いてゐる。

◇…一方、滿洲文話會では愈よその組織の擴充へと進むことになり、既存有力團體の賛成を得たら、やはり文話會の一翼に演劇部門を加へて仕事をやつて行きたいといふ意向になつてゐるやうである。

◇…これによつて考へて見ると、やはり滿洲文話會の一翼として演劇協議會といつたものを

演劇聯盟の説　御垣衛士

組織して行く方が都合が良いのではないかと筆者には考へられる。數多くの、日系並びに滿系の演劇團體が現にこの國に存してゐることは儼とした事實である。しかしこれまでそれらの間に充分な連絡があつたとは決して言へない。それには各團體のイデオロギーの違ひ、仕事の分野の違ひ、また實力の相違などいふ諸事情が原因となつてゐるのであらう。しかし何らかの連絡をつけるといふことは必要な筈である。そしてそれは官廳によつて行ふよりも、また一、二の最有力な演劇團體がイニシアチヴをとつて行ふよりも、これまでに文化關係で相當仕事もやつて來て居り、抱擁性、融通力を持つてゐるところの文話會のもとで演劇團體の結合的な協議體を結成して行くといふ行き方が最も穩當であらうと考へるのである。演劇が綜合藝術であり、音樂とか美術、文學、映畫、工學的技術、さういふ各方面と密接な關係を持つてゐることからもその方が便宜は多いと思ふのである。協議會結成後の仕事の持つて行き方、金錢關係の事などでも問題はあらうが、それは事に當る人人の聰明な處置によつて解決されて行くであらうと信ずるのである

開拓拾話

鏡泊湖のマンドリン

＝月刊滿洲七月號所載＝

眞殿星磨・作

大同劇團　三浦洋平・他

…後・八四〇…

未だ若いOさんは滿洲開拓青少年義勇隊訓練所の拓植係りとして七つの訓練所と二千名の青年とを預つてこの指導訓練に一身を捧げてゐる人である「私」は此の滿洲開拓の闘士から次にお話しする樣な貴重な體驗談を非常な感激をもつて聞いたのである

今の訓練所に最も缺けてゐるものはそれは情操方面に闘する施設でせう、まだそこまで手が届かないと言ふよりも指導者も又一般世間の人達も之に對する關心を殆んど持つてゐないのが最大の原因でせう、彼等には一枚の書用紙、一本のクレイヨンの方が餘程嬉しいのです、多くの青年は詩人であり畫家であり音樂家であるのです、彼等の精神訓練は充分でありますがそれと共に情操教育も充分にしてやらなければいけません

所で去年の春羅津で青年義勇隊を迎へた時の事です、みんなそれぞれリュックサックを背負ひ鍬や鎌や農具を擔き、多くは初めてふむ大陸に深い感動をうけ眉をあげ、肩をはり、一分のすきもない樣子をしてゐます その張り切つた空氣の中で一人素燒の植木鉢を大事さうに抱へてゐる青年が眼につきました、見れば鉢にはチューリップの青い芽が一寸許り覗いてゐます、私の胸に湧く暖いもの……私は思はずその隊員に話しかけたのです

「君その植木鉢はどうしたのかね？」

若い隊員の生一本の清純は色々の問題に當面しましたそれらを少しあげませう

ラヂオ　けふの番組

あさ

六、〇〇（新京）建國體操
六、一八（大連）入港船のお知らせ
六、二〇（東京）ニュース
六、三〇（新京）建國體操
六、五九（東京）時報
七、〇一（大連）朝の修養（新京）天氣豫報「處世隨想」（二）津田元德
七、二〇（新京）朝の音樂（レコード）（一）ハープ獨奏 一、ホームスイートホーム（ビショップ作曲）一、故郷の人々（フオスター作曲）サルヴイ（二）管絃樂 一、コーカサス酋長の行進、イヴアノフ作曲 二、東洋舞曲（グラズーノフ作曲）三、歌劇ボッカチオ序曲（ズッペ作曲）フイアデルフイナ管絃樂團 指揮ストコフスキー他
八、〇〇（新京）建國體操
八、二〇（新京）氣象通報
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇 東、奉 經濟市況
九、五〇（新京）幼兒の時間 童謠一、「とんぼ釣り」平岡均之作曲 二、「目高」林柳波（作詞）草川信（作曲）三、「砂あそび」林柳波（作詞）本居長豫（作曲）四、「夕立」富原薫（作詞）小松淸（作曲）五、「七夕」林柳波（作詞）北村久雄 作曲 六、「白萩の道」富原薫 作詞 坊田かずま（作曲）三宅良子（伴奏 銀の鈴オーケストラ

ひる

一〇、〇五 新京）家庭メモ
一〇、一〇（新京）料理獻立
一〇、二〇（哈爾濱）家庭の時間「美食偏食の弊害」坂田秀雄
一〇、四〇（新京）食料品値段
一一、三五（奉天 經濟市況
一一、四〇（東京 經濟市況
一一、五九（東京）時報
〇、〇一（奉天）經濟市況
〇、〇五（東京）輕音樂 一、別離 平川英夫（作曲）二、美はしの圓舞曲 チブルカ（作曲）三、輕騎兵の進撃 カロリス（作曲、四、逢ふ日は寂し 平川英夫（作曲）五、圓舞曲ドナウ河の漣 イワノヴイッチ（作曲）六、お江戸日本橋 佐野鋤（編曲）稻葉利とその樂團（指揮）稻葉利
一、三〇（東、新）ニュース
一、五〇（東京）經濟市況
一、五五（奉天）經濟市況
二、五〇（新京）氣象通報
三、〇〇（東京）婦人の時間「圖書に現れた子供の心理」野口久雄
三、二〇（東京）經濟市況
四、〇〇（東、新）ニュース
四、三〇（奉天）經濟市況

よる

六、〇〇（東京）子供の時間 童話劇「小さな船長さん」（一）木馬童話劇研究會（合唱）つくしんぼ子供會（伴奏）東京放送管絃樂團（編曲並指揮）太田畔三郎
六、二〇（東京）コドモの新聞
六、二五（新京）講演「今後の滿洲住宅」莊原信一
六、五〇（新京）國民メモ
六、五五（新京）カレントトピックス
七、〇〇（東、新）ニュース（新京）職業紹介、告知事項、今晩の番組
七、三〇（東京）講演「書修品等製造販賣制限令と工藝生産者及一般需要者の自覺に付て」商工省工藝指導部長 國井喜太郎
七、四〇（哈爾濱）喇叭鼓隊 勤勞奉仕隊慰問の夕 樂 一、輝く御稜威 二、靑年行進曲 三、戰捷行進曲 四、我等は若き義勇軍 五、分列行進曲 六、國民行進曲 七、非常時日本 滿洲開拓靑少年義勇隊哈爾濱特別訓練所喇叭鼓隊（指揮）秋間京一
八、〇〇（新京）慰問のことば 星野操
八、一〇（新京）第一次滿洲建設勤勞奉仕隊記錄（鐵舌）伴奏UYアンサンブル
八、二〇（新京）歌謠曲（一）……井上房子（イ）今日の船出 島田也（作詞）大久保德二郎（作曲）（ロ）哈爾濱夜曲 佐伯孝夫（作詞）山田榮一（作曲）（ハ）夢去りぬ 奥山謙（作詞）小泉元（編曲）（二）……後藤資公（イ）佐渡ブルース 島田芳（作詞）杉原泰藏（作曲）（ロ）嘆きのボレロ 西條八十（作詞）松平信博（作曲）（ハ）名君初上り 佐藤惣之助（作詞）大久保德二郎（作曲）
八、四〇（新京）開拓拾話「鏡泊湖のマンドリン」
九、〇〇（東京）連續物語 眞殿星磨作 三浦洋平「太閤記」豐臣時代 四、矢田挿雲原作 中村翫右衛門
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解説（新京）ニュース、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

結成四周年記念

大同劇團 愈よ〃檢察官〃上演

廿六日より四日間　於・協和會館

（毎月定期公演實行）

職業劇團として活動の第一歩を踏み出した大同劇團では結成四周年記念公演として來る二十六日より四日間（日曜マチネー）協和會館に於てゴオゴリーの不朽の名作「檢察官」を楳本捨三氏翻案の下に「巡閲使」と改題して上演することになつたが、之は大同劇團が手がける初の大物として各方面の注目を浴びてゐるが

此の大物公演を機として大同劇團では毎月定期的に公演を行ふことゝなり現在七月の「巡閲使」以後の公演を左の如く決定した

八月公演〃原野〃（五幕）之は「日の出」「雷雨」等で有名な曹禺作のもので、大内隆雄氏の譯も完成し現在滿洲公演向に改作準備中である、全滿最初の公演であり大物だけに之も注目される九月公演〃蘇州夜話〃（一幕、田漢作）〃父歸る〃（一幕）之は菊池寛の原作を滿譯して裝置衣裳共に原作通り日本化のまゝで行ふもの、滿人が日本の部屋で日本の着物を着て滿語を使つてやると言ふ處に劃期的な初めての試みがあるもので、新協劇團の「父歸る」と良き對照となり興味を持たれてゐるが「巡閲使」「原野」と次々にレパートリーに大作が組み入れられて行くことは漸やく活潑になり初めた滿洲演劇界にあつて大同劇團が三浦洋平氏の入團によるスタッフの强化と共にいよいよ本格的な活動の緒についたものとして注目されてゐる尚巡閲使の奉天並に哈爾濱公演は八月の「原野」公演後に行はれることになつた

お伽噺の連作〃かちかち山〃

新興下半期の異色作

今月の歌舞伎座ではかちかち山の劇化である川尻清潭作「お伽噺かちかち山」が羽左衛門の兎、菊五郎の狸で上演され、呼物となつてゐるが、お伽噺の映畫化に乘出し「花咲爺」を製作した新興京都では、更にこの「かちかち山」をも映畫化する事となり下半期の異色あるお伽噺映畫とすべく準備を進めてゐる

豪勢な所得税

人氣もの虎造はじめ

話題の横綱双葉山は昨年度の所得税七百七十七圓であつたが、新税法では甲種の勤勞所得税と變り、春夏場所毎に協會から給料天引の源泉徴税され、地方巡業の分は乙種の事業所得として賦課されると云ふやゝこしさ

大衆人氣の浪曲王廣澤虎造の所得七萬一千餘圓から税金も一萬百餘圓とはね上れば、女流ながらも七つの聲の持主、天中軒雲月が弱い咽喉一つの所得が八萬四百餘圓、虎造さんを凌いで税金も一萬七千六百餘圓といふ豪勢さである、醫師、辯護士、作家等の自由職業たる乙種の事業所得税では今賣出しの流行作家丹羽文雄氏の新税金一千七百餘圓となつてゐる新體制運動で全國民注視の的、近衛公の合所財政を新税金から覗けば所得税の計は一萬二千二百餘圓となる

霧立のぼる唄ふ 明日帝キネ舞臺

大した前ぶれもなしに突然霧立のぼる、澤村貞子の二スターそれから新進の笠原英子、御舟京子兩孃が夏の滿洲を慕つてやつて參りました、二十四、五の兩日帝都キネマの舞臺から一行は唄と踊で國都のフアンに御挨拶することになつてゐます

【寫眞は霧立のぼる】

延壽太夫復活

今秋の梅幸追善興行に

邦樂界の權威淸元延壽太夫は昭和十一年腦溢血で卒倒し爾來伊東の別莊で療養中であつたが、この程全快し今秋歌舞伎座の梅幸追善興行には四年振りに出演する、演し物は「其噂櫻色時」（おしゆん傳兵衛）で傳兵衛と白藤源太は羽左衛門、おしゆんは菊五郎と配役も決まり目下整調に精進してゐる

▼…多摩川 田口哲監督の「山のロマンス娘」はロケを全部を終了しセット二杯を餘すのみになつた

三宅島の噴火

記錄映畫に撮影

大日本文化映畫製作所では、三宅島の噴火を記錄映畫として製作すべく直に撮影隊を編成、芝浦出帆の桐丸で現地に急行せしめた、たほこの記錄映畫の題名は「火山」と決定し、同社が計畫中の火山映畫とは別個に完成次第發表することゝなつた

學藝

都住の記（四）

渡邊洪一郎

昔牛込驛のあつた出口を降りて神樂坂をやや上り、白木屋の出店を右へ折れて電車通りを踏切り、更に進んだ左側の高臺に西澤竹畝畫伯のお住居があり、その隣りに今度は書家の金子慶雲師（現泰東書道院審査員）がゐられる。この方の奥さんは雪莊と號され、同じ道を進まれつゝ御主人を今日あらしめた才色兼備の夫人である。古い昔話になるが雪莊夫人が金子姓に變つた直後「雀の卵」を讀んだ人は記憶されてゐよう、何度目かの妻君と別れた白秋が飛込んで來た事がある。つまり白秋は雪莊夫人の前身田村喜久榮孃を慕ふ餘りに既に嫁がれた婚家にまで押寄せた執心ぶりだつたのである。然しこの間の消息は白秋文庫の文獻（？）にも無ささうである。

同家に出入りした人の中に畫の眞野曉亭と川柳の坂井久良岐の兩氏がゐる。曉亭畫伯は既に故人となられたが久良岐老人は今尙矍鑠たるものであらう。この二人は酒の上の大の仲良しで奇行に富んだ人だつたが、特に川柳の宗匠である坂井老人の奇行は『生活即川柳』を標榜するだけに筆舌を絶するものがあつた。遙かにその門人達は師の主義通りには行かぬものと見えて、或夜の晩餐に師の盃をどうしても受けなかつた下戸の二門人は破門までの憂目に會ひ、金子氏を介して迄の謝罪も飽迄容れられなかつたといふ事がある。ある宴會の席に同座した折、老人は食ひ殘されたすき燒の肉を手摑みにしては頻りに片方の袂へ投入れるといふ嘘の樣な事實を目撃した。その袂には種も仕掛もある筈がない。落款に使ふ印肉がある中へ、洒落にもならぬ牛肉を投込むのである。この謎は久良岐先生宅を一度訪ねなければ容易に解けまい。

そこで老人の庵を麹町に訪はう。先づこの庵に人間の入るべき入口が見當らなかつたら客たるの資格なしであらう。直ちに丸窓の障子を開けてのつそりまたぐべきである四疊半の室には書籍、新聞、道具、机、花瓶、筆墨、何々、何々を散らした室には然も老人の枯れた影さへ彷彿させて萬年床が敷かれてある。さて私達はどこへ坐らうかが案じられる。然し女中が座蒲團を持つて來て呉れるから案じる必要もあるまい。座蒲團を置かれた所が私達の席だ。其處へ老人の愛犬も顏を見せよう顏—私は愛犬の顏と云つた。だが愛犬たるべく誠に珍妙な顏である。謎とは—老人はやがて靜かな手つきでその愛犬に片方の袂の餌を與へるのである。

戀星を祭る夜も過ぎたきのふ今日、都住の勤人たちは明るく混んだ電車を降りて、閑かな宵の家路から涼しく澄んだ乙女座の輝きを仰いでもゐよう。廂に區切られた僅かの空を青く透かして、たるみ大きく張られた蜘蛛の巣を見ることさへ今の身には何か樂しい都往の想出である。

私小說の現實性（四）

坂野透

私はまだ滿洲に來て日が淺いので、滿洲現役作家のことは余り知らないが、日本に於ける島木健作はその意味でデッサンの素人だと思ふ。彼の「生活の探究」は決して小說としての價値は大きくない。又阿部知二の作品には惡い意味でなく別な意味で私小說のデッサンが學ばれてゐない。「現實」と云ふものの解決に或る疑惑が感ぜられる。「幸福」にしろ「街」にしろ「冬の宿」にしろ、たしかに筆は立つ。が、そこにある「現實」は——くり返すが存在論的での——寄木細工の樣なものである。

彼が小說のデッサンを卒業し得たものであるかどうかは知らないがそこには何んとなく小手先きの感がなきにしもあらずである。彼等のみでなく現代の作家は多分に器用さがある。そしてその器用さの爲に深みを失つて了つたのである。

「深み」とは何か、所謂現實の掘り下げをさして云ひたい。

その意味で前半の論を採りたい。

自己の周圍を描寫する私小說をデッサンの場としてもう一度ふり返つて見るべきである。

その場合に最も必要なのは、自然主義癈頽期に流行した心境小說の轍を踏んではならぬと云ふことである。

芥川龍之助や有島武郎が自殺した原因は、結局自己內部のものに負けた——それは彼等か立派な私小說を書き得なかつたからである。

作家は私小說を書いた場合に一番安心立命を感ずると云ふ。それはデッサンの腕か出來るか否かと云ふことでなく作家の心構へを得るか否かと云ふことである。

私小說として大成したものに周知のストリンドベルヒがある。「痴人の告白」に於て、「死の舞踏」に於て、彼は私小說家として——さう云ふ云ひ方が許されるならば——それをあく迄守り通した作家であり、北歐的なねばり強さを偉大に生かした作家である。

作家であつたエンゲルスが、

「哲學上の原理も自然や人類世界かそれに從ふのではなく、それが自然及歷史と一致する限りに於てのみ正しい」

と云つた。從屬關係にあるのでもなく、一致することに於てはじめて意義がある。

小說は結局その作家の踏んで來た一人生の正直な集中的表現であつてこそ物語としての面白さがあるとは強ち一方的偏見でもあるまい。

如何に美しい造花であつても一輪の開花に如かない如く、凡ゆる人間は人間であつてこそ始めて總てか私小說の材料を自己の身近かに所有してゐることが出來るのである。

只、その中に自己を、自己の「現實」を眞に認識してそれを如實に——或は言葉が不充分かも知れないが——表現しうる作家に於てはじめて私小說か書け、それ以上の階級につき進むことの出來る作家なのである。

何とならば、私小說は同時に心境である。心境へは「立脚地」である。そのプンクトから見渡した周圍は、總て自己の體驗である。更に云へば自己である。

之は、私小說か決して文學の流行に左右されないものであり、文學の途に迷ひ途半ばにして難船した作家の歸着する港なのである。

私はこの稿を書くに當つて久米正雄の、私小說論を參考にして見た。と同時に彼の書いた「破船」が頭に浮んで來た。あくどい筆で泣きごとの如く書かれたこの長作には、何等面白味がなかつた。併し文學に行詰つた彼が希望の逃道として把んだものであり、その上而も失敗したものであつた。

作家よ、彼の失敗は過去のものである。が故に輕視さるべきものではないのだ。新しく謙虛な氣持で、私小說へ歸り給へ。

そして細心の注意で現實を見直すべきだ。

來新日尙ほ淺く、忙中の身いさゝかなげやりの憾あり御寛恕を乞ふ。（終り）

豆隨筆　心の榮養

鈴木苧鄉

朝だつた。雜草も鮮かに綠を一入增して路を埋めるばかりに垂れてゐた。展けゆく大陸の陽の中に今總てのものが息づき初める、其の中に坐して自然に聽く。

この頃俳句にしろ歌にしろ加工されたるものが多いやうである。「近代人だから近代風景を」「近代人だから近代的感情を」「やむを得ぬ目下の姿でござる」と言うてすましてゐるなら已むを得ぬが表現の加工より先づ自から生むの本能主義で精進したいと思ふ。風景の底に神はある、現象の底に永遠は流れてゐる。吐けば溜息でなく、もつと根本的に「生活」を磨き「心」を磨くことこそ尊い經驗ではあるまいか。井泉水氏は詩とか歌は「心の營養となる」と語つて居られた。自己の追求のたゞ中から生れた「思ひ、惱み、溜息」がやがては作家の心の營養となるのではなからうか。

女（1）

岡谷波津子

をんな、と言ふ言葉は、淋しみが感じる。さうした意識やはり誇負心よりも、生意氣かも知れぬが、家庭內において女の名をおしつけられる時は殊に——

だのに、此の前の事だ、家の前の百貨店に買物に行つた時、女店員達は殆ど女客達の樣子をじろ〳〵とぶしつけな目で眺める「お客樣の方が貴方たちよりも粗末な着物だつたら……」と私は微笑ましい心持となりだらうに、如何にも人馴れしすぎて、物うさゝうな態度の店員達を、そのまゝ見すごして、最後に化粧品の前に立つた。どの子も美しいけれど、其の中でも、この人達は化粧したてのやうに、活々した美しさであつた。硝子窓においた私の手は汚れて、日にやけきつてゐる。顏だつて同じ事だ。私は瞬間、一寸氣恥しい臆した心持になつた。（白粉も化粧水も頬紅も——）と思つてゐたのが、何となく憚られて來て、しばらく三人ほどかたまつてゐる店員達をぼんやり見てゐた。彼女達は美しい顏で、そして、三人ゐるお客には、ちらと一べつしたきりで何か自分達のお話をしてゐる。

私は男が見たら、何と思ひ、何と言ふだらうと、ちらと思つた。その男達は、微笑して「美しき雀よ」と言つた紳士でもなければきれいに髮をひからせて女のやうな手をした大學生式な男でもない。女を「をんな」と呼ぶ男達の事である。

彼女達は非常に美しくて不親切である。權式高くて思ひやりがなくて豪奢な奥さん達には割合におとなしいが、見すぼらしいつくねした女髮の粗末なおづ〳〵した女にはすこぶる不愛想だ。

私は遠慮がちに、遠くから近よつて來ない彼女達に聲をかけた。

「あの、すみませんが、クラブ粉白粉のクリームがありませんでせうか？」

誰も返事をしなかつた。やゝあつて、一人が煩ささうに近づき

「何ですか」

その人は、化粧は美しかつたが、それでも田舍びた顏つきはかくせない人だつた。

「あの、クラブのこな白粉で、クリームありませんか」

ともう一度くり返す。

修養

一色新

人前で、容易すく修養などを口にする人間位淺薄なものはあるまいと思ふ。凡そ人間といふ極めて厄介な生き物は、本當はこの修養といふ他力であると同時に自力の導きによつてのみ初めて人間が人間らしい方面に、己れ自らの何者かを見失ふことなく進み得るところのただ一つの方法である。そしてこれがまた唯だ一つの目的でもある。であるから眞の修養などといふものは、尤も內面的な生命の工夫であつて、說明以上のある人格の自然の輝きでなければならぬ。世の中には然し、數十年の基督教徒であると自己を吹聽しつゝ、なに一つ所謂十字架の途を履み行はない似而非クリスチヤンもあると同じく眞の修養の世界こそは、所謂修養家のえて口にするところの何々の好題目の中には決して有り得ない。眞實と虛僞との見境は中々むづかしいものであつて、人間の本物か、僞物かの限界も、結局依つてもつてその人間が人間として立つてゐる、その內性の深處から發したものか否かにあるのである。

書架

▲死の從軍記者　今次事變に從軍して戰死した各社記者を追悼した文を集めたもの、四六判三五〇頁（大阪市西區江戶堀北通一ノ一二、私の手帖社、一圓六十錢）

▲ソ聯の秘密室（クリヴィツキー著、富樫長英・篠原武英譯）評判になつたクリヴィツキーのものの譯、ゲーペーウーの一員であつて脫出した著者の手記で中々興深い（東京牛込區早稻田町四四、人文閣一圓六十錢）

▲內外經濟情報（六巻五號）（日滿實業協會滿洲支部十五錢）

開拓地の―花嫁候補に感想を聽く

「下」希望に燃える座談會

安武・この方たちをどういふ風にしてお選びなさいましたの？（熊井女史に）

熊井・はじめ拓務省から縣の方へ"私が秋田ですから秋田、岩手、宮城の三縣にお話があり、縣から村にたのんで募集したのです、あとで私自身出かけて一軒々々まはつて娘さんにも家族の方にも會つて見たのです、だからみんな選り拔きの立派な娘さんばかりです、これを御覽下さつてもわかります（女史は大型の手提袋の中から健康診斷書、入塾願書、戸籍謄本、村長からの推薦書、人物考査書の束をとり出して記者等に示す）これだけ持つてゐれば何時お嫁さんの申込みを受けても大丈夫です、少し後れてあとからもう三人人來ることになつてゐます

松平・みなさん中々いゝ體格だから結婚したら子供さんも澤山產むでせうね多產系の女は多產だとかいひますが皆さんのうちで五人以上の兄弟の方は？（七人手が擧る內八人兄弟といふのが二人）

熊井・澤山產むことも大切ですが產んだ子供を丈夫に育てあげることがもつと肝腎です

面川・みなさんの子供の中から大陸を背負ふ人達が出て來なくてはなりませんね

松平・何しろ皆さんは建設者なのだからいろんな意味で、ずい分責任も重いわけですね

熊井・新しい土地を拓くのですから研究的な態度で合理的に新しい生活をきづきあげて行かなくてはならないと思つてゐます

松平・將來の生活に就いてとか或は現在皆さんが抱いてゐられる不安といふやうなものはありませんか

川島・滿洲は肺病になり易いときゝましたが……

松平・肺病になり易いどころか日本より濕氣が少くて紫外線の量が多くて肺病の療養地だとさへ云はれてゐるのですよ、現に興安嶺の麓の札蘭屯には結核療養所まで出來て大變評判がいゝんです

及川・それでもよく肺病になつて滿洲から歸つて來る人があるやうですが……

面川・それは土地や氣候が惡いのではなくて、都會地に來てゐる青年など大抵アパートや下宿にころがつて家庭的なうるほひがないから、どうしても生活が放縱になつて體を惡くするのです、生活があまり殺風景だからつひ酒をのんだり遊んだりする、夜更しもすれば食事なども目茶々々になる青年期の人ですと一番に胸をやられるのですね

安武・他に何か氣にかゝることはありませんか？皆さんでどうぞ

伊藤・私の友だちで親の反對を押切つて滿洲にお嫁に來た人が今肋間神經痛に罹つて實家に歸るにも歸られずにゐる人がありますので、私も病氣が一番心配です

小野寺・うちではおばあさんが大變こちらの氣候を心配して暑さ寒さに氣をつけなさいと繰返し繰返し氣つけて下さいました

齋藤・暑さは內地とあまり變らないやうですが多少心配です

小林・こちらは防寒設備がチヤンと出來てるさうですからその點は安心してゐます、唯子供が生れても教育機關などとゝのつてゐるかと心配です

西川・開拓地は何處にも立派な小學校もありますし中等學校もあちこちにあるし、皆さんのお子さんが學校へ上られる時分にはもつともつと教育機關も整備するに違ひありませんからちつとも心配されることはありませんよ

川島・おばあさんはもう大分年をとつてゐるからもう會へないのではないかと心配になります、小さい時からおばあさんの手で育てられましたから

工藤・何も心配はありません、熊井先生がいらつしやるから安心です

佐藤ケ・私も祖母さんが心配です、それから私が若しこちらで病氣をして死ぬやうなことでもあると村の人等はこわがつて開拓地に來なくなるから病氣が心配です

及川・病氣のほかには何も心配はありません

安武・どんな人と結婚したいと思ひますか、順々に遠慮のないところをきかせて下さい

小野寺・しつかりした人なら顏などまづくてもかまひません

石川・健康でやさしい人が好きです

伊藤・體が丈夫でまつ直な人

及川・時には喧嘩位してもいゝし、お酒も少しならいゝと思ひます

川島・私は醉拂ふ人は嫌ひです

細川・無口な人よりも朗かな人がいゝと思ひます

小山・健康が第一です

佐藤ケ・心身共に健康な人です

小野寺・あんまり亭主の威勢をふりまはす人は嫌ひです、手拭ひや猿股位自分で洗ふ人がいゝです

石川・心に秘密を持たず何でも打明けてくれる樣な人を選びたいのです

佐藤ハ・あんまりおとなし過ぎる人より少しは氣が荒くてもガツチリした人が好きです、お酒も醉拂はない程度ならかまひません

小林・中等程度以上の教育のある人で朗な健康な青年、年齡三十歲位、趣味はスポーツ、時たま農閑期など利用して旅行につれて行つてくれるやうな人を望んでゐます

松平・開拓地でなくとも滿洲に住む青年ならばといふ人はありませんか

乙女一同・斷然開拓民を選びます

松平・同じ地方出身の人と結婚したい希望はありませんか

小野寺・人物さへ立派なら何縣の人でもかまひません

松平・しかし例へば東北地方の人と九州の人間とでは第一言葉から不自由ではないでせうか

佐藤ハ・暫く一緒にゐたらお互にわかるやうになるでせう、わからないなら方言を止めて標準語をつかへばよいでせう

安武・でもあまり地方が違ふとお料理にしても習慣にしてもいろいろ違つて來ますから、どうしても女の方で讓歩しなくてはならないやうになるでせう

川島・私もあまり違つても困るだらうと思ひます

熊井・その邊のところは充分考へねばなりませんね二十年も三十年も、長生きすれば五十年も連添はねばならない夫婦ですから、最初から無理があつては不幸です

松平・ではこの邊で

安武・どうもありがたうございました

通信事業にも意義の深い今年

秋に各種記念行事

【東京發國通】紀元二千六百年國を擧げて慶祝する今年はまたわが國の電氣通信事業にとつても記念すべき年なのである、電報が明治三年東京橫濱間に業務を開始して七十周年、電話は同區間開通以來五十周年さらにラヂオが芝浦の東京高等工藝學校で放送を始めて十五周年に當り、通信事業にとつて頗る意義ある年なので遞信省ではこの機會に通信事業將來の發展に資するため省內に電信電話記念事業委員會を設け記念事業を計畫中である

これによるとまづこの秋十月十一日を期し記念式を擧げ電氣通信週間或は展覽會、映畫製作、電信電話事業改善論文、標語などの懸賞募集などを行ふが特に十月中旬には全國各遞信局、滿洲、支那、朝鮮、台灣、樺太などの各地から代表二百名を東京に集め現在通信方式の各種を網羅した大競技會を開催することゝなつてゐる

石油資源の發見をも豫想

期待の白頭調査隊

世紀の感激と喝采のうちに行はれる長白山系沿ひの廣大な白色地帯に加へる建國以來最初の大がゝりな調査は雨天のため豫定よりおくれいよいよ廿四日撫松縣城を出發

政府（治安部、交通部、林野局その他）大陸科學院、滿鐵、東邊道開發、旅順工大、奉天醫大並に通化公署員ら合せて九十名の本隊がこれと行動をともにし白頭山頂上で紀元二千六百年の式年を慶祝する大萬歲を三唱せんと青年の意氣軒昂たる通化協和青年團二百卅名その他あはせて六百名の大部隊を編成、未踏の惡路嶮所を踏破、長白山系東麓を東崗までトラック、その後は徒歩の強行軍をつづけ松花江上流ぞひに白頭山上に至り安圖縣二道河子を下つて露水河に出で撫松縣への全コースを二週日に亘つて極めることゝなつた出發に先だち調査隊長溫常新氏（撫松縣長）は語る

例年になく今年は雨が多かつたため出發が豫定よりおくれましたが準備は全く成り先導隊長は長白東麓に二十年以上も暮した森林警察隊長ですから、コースについての不安もありません、今回の調査で最も期待されるのは何といつても石油資源の發見でせう安圖、撫松縣境の二道河、三道河地方及び五道頂子東方が有望とされてゐます、その他炭、鐵、金銀等の鑛業資源も東洋のザール東邊道のことですから勿論多量埋藏の見込みです、森林資源については言ふまでもなく原始林や平地の調査による耕地發見も大きな任務の一つで森林拓民の入植を要請する日も遠くないと思ひます、それから藥草も七十餘種あり更に虎、貂、山猫、熊、猪、鹿、ノロなども豐富に棲息してゐるでせうし今回の調査は全く樂しみです

▽▽武道會柔道部△△
▽▽暑中稽古賑ふ△△

市公署帝國武道會支部柔道部中央道場では本月十五日から二週間に亘り暑中稽古を始めてゐるが歸績敎士、羽生五段、後藤四段三敎師指導のもとに午後五時から三十餘名の若人が押掛け酷暑にも負けず猛練習を續け盛會を極めてゐる

一見に如かずと老町議開拓地へ

【羅津國通】去る十八日新潟發日本海汽船月山丸で來滿した滿洲建設勤勞奉仕隊特設農場後期班第三次輸送部隊東野中隊の若き鍬の戰士に交つて六十三歲の老の身もいとはず聖鍬を揮はんとする偉い奉仕隊員がある

この隊員は青森縣上北郡七戸町會議員福士貞藏翁その人で、かねてから町會で論議されてゐた分村計畫樹立について人から聞いたり、本を讀んだ丈では滿足できぬ、大陸の開拓村を自分で見自分の耳で聞いて來なければと敢然參加したもので河和田分所での十日間の訓練にも若人を凌ぐ精勤振には模範隊員として全隊の師表と仰がれてをりまた孫のやうな隊員達からは慈父の如く尊敬の念を集めてゐる

醫療の御禮に農耕の手傳ひ

開拓地の日滿交驩

【寧安縣小牡丹集合開拓團にて】神奈川縣から集合開拓民として去る四月先遣隊が九戸小牡丹に入植、目下建設の途上にあるが團長高橋宇三郎氏を訪へば同氏は始めて見た滿洲人に感謝の念を溢れさせ乍ら語る

未知の土地に九戸の先遣隊と一緒にこの四月入植しました、始めは土地の事情もわからず、言語もわからず全く困つてしまひ初めの一ヶ月は無意味に過しました、ところが滿人部落に非常に病人が出るので醫者とてゐないこの街に氣の毒でならず常備の家庭藥を持つて行き治療してやつたところ不思議に良く效くので滿人達は非常に感激してくれ、滿人の言ふには「大人のところには人も入つてゐないのだから勤勞奉仕隊この御禮に是非農耕の手傳ひをさせて頂きたい」との申出でがありましたのでこの間第一回の除草をして頂きましたところ、部落民が總出でやつてくれ近く第二回の奉仕もして頂くことになつてをります、知らぬ國に來て言語も通ぜぬ國民から受けたこの親切には全く感謝の外はありません、これに力を得た私達は開拓事業の完遂と、日滿民の融和に寄與したいと思つてをります

なほこの話を聞いた寧安縣當局では直ちに部落民一同を表彰することとなつた

軍用犬座談會

滿洲軍用犬協會本部では二十三日午後七時から青葉グリルで軍用犬座談會を開催刈田尚志氏の「血統に就て」の講演があり、同氏を中心に血統に關し會員の研究並に意見交換を行ふことになつた、當日は會員はもとより一般愛犬家多數の來聽を歡迎すると

野球戰日割變更

全京城野球チームの來京が廿二日に遅れたため日割を左の如く變更した、尚廿四日の滿業對滿俱戰は延期することになつた

廿三日　全京城對電業、
廿四日　全京城對滿俱

教壇の未亡人

卒業式擧行

【東京發國通】夫を聖戰に捧げ雄々しくも教壇に再起を誓つて昨年九月十日東京女子特設小學校教員養成所に入校愛兒を可弱い腕に波と勉學を續けて來た教壇の未亡人の卒業式は螢雪の功成つて廿日午前九時から小石川竹早町東京府立女子師範學校內の同校で擧行された、平野君江さん（東京）以下廿名にそれぞれ卒業證書と教員免狀を授與、田村サミヨさん（山口）は皆勤賞を貰ひ佐藤所長の激勵の祝辭、岡田府知事の告辭、本庄軍事保護院總裁の祝辭に力づけられ午前十時式を終り卒業の生徒職員の茶話會を開き苦節の學窓生活或は亡き夫のことなどにも話は盡きず今後の決心を誓ひあつた

武部新長官と家族(左端母堂)

—來る人・去る人への辭—

不安を感じない その性格と識見 武部氏へ寄す期待

松木次長談

星野直樹氏の近衛内閣無任所大臣兼企畫院總裁決定に伴ひ後任滿洲國總務長官の候補は現地、日本内地合せて十指に餘る華やかさであつたが、現地と中央の意見一致せざるもの、本人の心氣動かざるもの等相當難産の狀態を續けてゐたが、二十二日午後に至り元關東局總長武部六藏氏に漸く内定を見た、武部氏は關東局總長として現地の實情にも精通し中央に在りては企畫院、對滿事務局の樞機に參畫し日滿物動に關して卓越せる識見を有して居り、滿洲國總務長官としては蓋し適任なりと期待をかけられてゐる、武部氏は大正七年東大法科出身で本年四十八歳の正に脂の乘り切つた働き盛り、これで武部氏の輔佐役となるべき星野さんの良き女房役としてその圓滿なる手腕をみせた松木總務廳次長を訪ふと非常な期待を寄せ乍ら左の如く語つた

滿洲國側の一致せる意見として武部さんを推すこととなつた譯であるが、私の知つてゐる氏は頭腦明晰で明朗な性格の人であり大いに期待してゐる、治外法權撤廢當時關東局總長として滿洲國側に協力してくれた人であるから滿洲國に對する理解なり識見については少しの不安も感じてゐない、又その圓滿なる人格は當然この國の金融經濟界にも好影響を與へることと信じてゐる、協和會との關係についても必ずやうまくゆくものと信じてゐるが、正式決定後でないからこれ以上語ることを避け度い

手腕は既に試驗濟

莫逆の友大原氏談

武部氏の同期には現關東局總長大津敏男氏、滿鐵新京支社長平島敏夫氏、大原法律事務所長大原萬千百氏等國都各界を率ゐて起つ錚々たるものが揃つてゐる、一高時代から大學卒業まで机を並べて來た莫逆の友大原萬千百氏は武部氏長官決定の報に欣然として語る

武部君にいよ〳〵決つたかね、それはまことにお目出度い、同氏の手腕については關東局總長、企畫院、對滿事務局ですでに試驗濟みだ、現地の實情にも精通して居り中央にあつて日滿物動に關しても卓越せる識見を有してゐるから大いにやるだらう

親孝行の賢兄 實弟は電々計畫課長

武部新總務長官に國都から「兄さんしつかり」と聲援を送つてゐる弟がある、この人は滿洲電々計畫課長武部九郎氏で兄長官の橫顔を左の通り語る

兄は星野前長官と同年の四十九歳ですが大學は一年遲れて大正七年出てゐます、九人兄弟の六番目で六代目長官就任の命を拜したのも何か因緣であるやうです、弟の私から言ふのも變ですが、非常に他人に對して親切な男であり、どこまでも物堅い行政官で八面六臂の大政治家と言ふやうな人物ではありません、しかしその半面非常に腹の据つたところのあるのには敬服してゐます、二ヶ月ばかり前母が危篤に陷つたので私も歸國し一緒に看病しましたが、兄の親孝行な點だけは人樣に自慢出來ると思ひます、家庭における兄は男二人、女五人のよい親父です

大喜びの大津總長

武部六藏氏は各方面の輿望を擔ひ滿洲國總務長官に就任することに決定したが、大津關東局總長は我がことのやうに喜び乍ら武部新長官を語つた

武部君の如き滿洲國に密接な關係のある人が新總務長官として星野君の後を襲つたことは滿洲國だけでなく日本のためにも喜びに堪へない、武部君とは大學時代の同期生であるが、學校時代からトップを切る秀才で明朗闊達な實行力に富む肚の坐つた政治家だ、第一次近衛内閣時代青木企畫院總裁の下で次長をやり、物動計畫の元締として大いに活躍すると同時に、その仕事を通じ滿洲國を更に深く勉强し滿洲國に寄與するところが多かつた、武部君の在滿中は日系のみならず滿系の人達にも中々評判良くその交際も深かつた、殊に張總理とは終始仕事の緊密な接渉があり個人的にも深い交際があつたから武部君の新總務長官として今後やる仕事は相當期待出來る

滿系間の徳望も實に大であつた 去る長官惜しんで張總理は語る

星野總務長官の近衛内閣入閣決定に關し張國務總理は廿二日正午記者團との會見に於て松本秘書官を通じて總務長官の後任は未だ正式決定を見るに至つてゐないが、後任總務長官が例へ何人であらうとも東亞新秩序建設の據點としての滿洲國國策には何等變更のあるべき筈はなく而も日滿關係は益す强化の一途を辿るであらうと冒頭して星野長官の日本政府轉出を惜しみつつ左の如く語つた【寫眞は語る張總理】

星野長官は非常時日本を背負つて起つ近衛内閣の無任所相兼企畫院總裁といふ國政の重要ポストに就任され滿洲國を去る事になつた事は滿洲國にとつては實に惜しみて餘りあることではあるが、非常時局下の情勢上又やむを得ないことである、星野長官は滿洲建國と同時に滿洲國入りをされ爾來財政、經濟政策方面に幾多されたる功績は實に大きい、長官就任以來も産業開發五ケ年計畫を始め重要國策に自ら參畫且つ職務に精勵恪勤下に範を垂れるのみならず、滿系官吏にも親しく交はり滿系間にも其の德望は實に大であつた、入閣後は滿洲國での政治的體驗を活かして日滿華を通ずる東亞新秩序建設に大きな威力を加へるものとして其の活躍を期待してやまない

八周年の佳き日に新しき興亞の誓

廿五日 協和會創立記念

二十五日は東亞新秩序建設の據點躍進滿洲國の精神的母體として年と共に内容を充實强化して來た協和會の創立八周年記念日である、この日全國的に祝賀記念行事を繰り展げるが、國都では協和會中央本部主催の下に協和會館に於て張會長以下役員、首都本部役員、在京會務職員、全滿奉公隊長、首都各分會、靑少年團並に外廓團體代表等約二千餘名が參集盛大なる記念式典を擧行、次いで挺身會運動に殉じた幾多先輩の靈を慰め感謝の誠を捧げる慰靈祭を執り行ひ、さらに引續いて義勇奉公隊の隊旗返納式並に新隊旗入魂式及び授與式を行ふこととなつた

式は午前八時三十分まづ開會の辭について日滿兩國旗に敬禮、皇居、帝室、建國神廟を遙拜、張會長の協和會に賜りたる詔書捧讀ののち張會長致詞、丁中央本部長の訓辭があつて大日本帝國、大滿洲帝國、協和會の萬歲を三唱閉式續いて九時二十分から協和會先驅者の慰靈祭を神式によつて行ひ十時から隊旗返納式、十一時から新隊旗入魂式同授與式を嚴修する

なほ式終了後この日國都に集つた全滿義勇奉公隊長は午後一時から建國廟に參拜續いて同三時から日滿軍人會館に於て張國務總理、丁中央本部長、飯村參謀長、于治安部大臣等參列の下に奉公隊長會議を開催するほか

首都本部ではかねて提唱して來た都下靑年を總動員して靑年自興大會を午前八時から白山公園に擧行、協和會綱領宣言文の朗讀、花谷少將の講演、飛入り演說等に眠れる靑年の魂を搖り動かし興亞の推進力たらんとする烈烈たる靑年の意氣を昂揚してこの日を一段意義あらしめることとなつた

詔書奉戴に當り張會長から訓示

國本奠定詔書渙發に際し協和會中央本部では來る二十七日午前九時から全會務職員を第一會議室に集めて丁本部長の訓示を行ふとともに張會長から全國會員に告げる聲明を發するが、終つて午前十一時からは全員協和禮裝に身を正して建國神廟を參拜したのち再び午後一時から人事、經理に關する指示についての會議を開催することとなつた

なほ當日午後六時からは中銀俱樂部で橋本前中央本部長送別晚餐會を開く

米國經濟視察團來京

去る六月廿六日來朝以來約一ヶ月間日本各地を視察中であつた米國經濟視察團オライアン氏一行は日本における視察を完了、廿二日午後五時廿分着あじあで入京少憩の後中銀クラブにおける滿業の晚餐會に列席したが、驛頭左の如く語り、アメリカの對日滿認識も結局紹介のされやうが徹底すればもつと好轉するとの意見を開陳した

自分達の來滿したのは特に政治的乃至は經濟的の意味を含むものではない單なる而して漫然たる視察に過ぎないのであつてアメリカの對日滿輿論を今日以上に好轉させるためには實際の國柄を見なければわからないといふことを痛感して視察に來たのであつて、豫想以上の發展過程にある滿洲の實情には我乍ら驚歎した

なほ一行は廿三日正午中銀主催の午餐會、午後六時の商工公會招宴に出席する

名二塁手星野 今は懐し家族チーム

仕事に全力注いだ星野さんは一面大のスポーツマンだつた、玉城秘書との庭球も熱心だつたが滿洲チームの野球部長として野球も大好き、一家をあげて星野チームを結成してゐたほど、その他あらゆるスポーツに興味をもち靑年スポーツマンから「我らの親爺」と親しまれてゐたが、そのスポーツマンとしての橫顔を滿洲國チーム野球部監督二木茂益氏(中銀營業處勤務)は次の如く語つた【寫眞はバットを振る星野氏】

大館前總務長官が野球部長當時財政部(現在の經濟部)總務司長であつた星野さんも野球部に入つて盛んに活躍し野球通をもつて自ら任じてゐました、シートは二塁手でしたが時に應じて何處でも守ることが出來る人で私たちはいつも叱りとばされてゐました、その後自分で星野チームを作つてゐましたが、長男の正一君だけには齒が立たないで逆に叱り返されたりしてゐたところを見るとやはりなかなかの好々親爺でもありました、いつも口癖のやうに「元氣が足りない」といつて何事でも一生懸命にやることを望んでをり、どんな弱いチームと試合をしても「いくら勝つてもいゝから全力を盡して鬪へ、それが相手に對する禮儀だ」と私たち若いものに眞劍味を要望してゐました、私共滿洲のスポーツマンにとつては懐かしい人です

輝く文化建設へ

日本から各界の權威者を招聘 民生部の工作進む

民生部では豫ねてから日滿の文化交驩を契機に滿洲國文化發展の實を擧げるべく計畫を進めてゐたが、學術藝術の分野に亘りこれを總括し「文化建設工作」と稱し、實踐方法については此の程漸く決定を見るに至つたので、先づ内地からの指導を仰ぐこととなり愈よ今秋より本格的に文化建設運動を開始する運びとなつた、即ち内地からの指導は既に交渉も纏り音樂、文學、繪畫、演劇界から左の如き各權威者を招聘して日本文化の技術的、精神的兩面をくみとつて成果を擧げんとするもので、諸氏の渡滿の日を待つて諸準備を進めてゐる

▽樂壇よりは音樂批評家田邊尙雄氏を招き通俗的音樂が一般に與へる影響の淨化を圖ると共に吉林方面一帶の音樂調査を依頼する

▽文壇よりは劇作家岸田國士氏を招き文學精神に關する講演、指導を依頼することとして文話會に一任する

▽畫壇よりは二科の巨匠石井柏亭氏を招き來年度國展に關係づけて美術指導を仰ぐ

▽劇壇側より文學座の重鎭久坂榮二郎氏を招き各地から演劇材料を蒐集脚本作成の運びとなつてゐるが、滿鐵からの希望もあり滿洲國を背景に小村壽太郎、後藤新平等滿洲國に緣故ある人材を取材した脚本を書き適當な時期を待つて上演する

聖鍬收め歸國 特設農場前期班過京

滿洲建設の讃歌高らかに去る五月二十二日來滿、薩爾圖特設農場で建設の逞しい聖鍬を振つた特設農場前期班五百五十七名は二ケ月の勤勞奉仕を終りいよいよ日本へ歸國することになつたが、先遣隊九十七名は二十二日午後五時二十一分新京着列車で來京、西本願寺に一泊、本隊四百六十名は二十三日午前十時四十九分新京着先遣隊と合流、午前十一時から滿鐵新京支社前で行はれる表彰式に臨むことになつた

式は奉仕隊代表報告に對して中央實踐本部長謝辭を述べ感謝狀を贈與、奉仕隊代表の答辭あり萬歲を三唱して式を閉ぢ市内見學ののち午後四時三十分新京發大連に向ひさんとす丸で歸國する

興亞の歌 當選者發表

興亞建設の大業を鼓吹して日滿は勿論遠く支那、印度、泰國などあらゆる東亞民族をして高らかに讃歌せしめる「興亞の歌」は民生部、協和會、滿日文化協會をはじめ各關係機關によつて曩に懸賞募集され遙かに第一線將士からも應募があるなど係員を感激させたが、全審査委員の手によつて嚴選中のところ廿二日次の如く當選作一篇及び佳作二篇が決定した

△當選作(賞金八百圓、一篇)新京興亞胡同協和住宅甲二ノ一板垣守正

△佳作(二篇)盛岡市仁王日影門外小路一〇阿部松枝方阿部キミ子、滿洲國治安部情報課張靖宇

錦ビル管理人 横濱で捕はる

朝日通五二第五錦ビル元管理人愛知縣西加茂郡擧母町生れ前科一犯加藤鉞藏(四二)は去る六月中旬同ビルの公定家賃無視が市公署に摘發され痛いお目玉處分に遭つてゐる大騷動の最中、集金した家賃一萬四百圓をそつくり拐帶ドロンしたが中央通署で全日滿に指名手配搜査中橫濱の料理店で豪遊してゐるところを伊勢崎警察署刑事に捕へられ二十日中央通署に護送して來た

加藤は内地高飛びの機會を安東で窺ひ官憲の眼を掠めるため同地カフエー女給安川義子(二〇)=假名=を甘言と金で籠絡夫婦氣取りでまんまと逃げ延びたもので、逮捕された時懐中には約四千餘圓を所持してゐた

全滿プロゴルフ

全滿プロ・ゴルフ競技は二十三日新京ゴルフ場に於て擧行されるが出場者は次の通り(三十六ホールスメダルプレー)

中村兼吉(H0星ヶ浦)三田建造(H4星ヶ浦)副好賢一(H4星ヶ浦)内田義男(H2奉天)宮田秋男(H6鞍山)井田金作(H2新京)吉田節治(H6撫順)延原德春(H1京城)崔在章(H6安東)三田鶴三(H3安東)

滿洲場所八日目

大相撲滿洲場所八日目は奉天場所五日間に亘る幾多熱戰を殘し東西得點四九對四三で西方優勝金省長盃を獲得した、勝負は次の通り

相模川(吊出し)二瀬川
靑葉山(掬投げ)九ヶ錦
松浦潟(寄切り)駒ノ里
佐渡島(下手投)綾若
兩國(吊出し)金湊
若浪(寄切り)大和錦
藤ノ里(押切り)巴潟
大浪(寄倒し)大邱山
武ノ里(下手投)鶴ヶ嶺
佐賀花(寄倒し)龍王山
肥州山(寄切り)旭川
出羽湊(叩込み)楯甲
櫻錦(寄切り)大潮
笠置山(二枚蹴)富士嶽
五ッ島(肩透し)磐石
照國(寄切り)安藝海
綾昇(打棄り)羽黒山
前田山(内掛け)名寄岩

打出六時四十五分

長野縣女子奉仕團

長野縣派遣女子奉仕團の屋代女子實業學校生十六名及び女子靑年團十四名は六月八日より七月六日までの黑台信濃村に於ける勤勞奉仕を終へて二十三日午前六時五十四分着列車で來京、市内見學の後午後六時五十分發列車で出發する

七分鳩

わかりました大臣に伺つてみます、暫くお待ち下さいと扇の風を入れてゐた協和服のボタンをキチンとはめ、それから懐鏡をのぞいてポケットから取出したクシで稍亂れた頭髮をなほして席をたつた司法部大臣秘書官野間義雄氏

×

やがて戾つて來ると、大臣は承知されました、だがあなたのおつしやるやうに簡單にはまゐりませんさうです何しろ揮毫の筆をとるからには相當の準備が要りますさうです、事務机の硯と筆、チョイ〳〵と書いてなどゝは以ての外だとおつしやいます……と額には玉のやうな汗がにじんでる

×

なるほどさうだつたか、謹嚴な張法相のことだ、私邸で紙をのべ頻りに習字をやつてるところが思ひうかべられる、こりやア恐縮、つい無理を申しまして、それにしても宮仕へはお骨が折れませうと詑びたり、慰めたりしようとすると、イヤ、こりやア大臣のおつしやるのが正しいです、あなたの希望をそのまゝ取次いだのは悪かつた……と如何にも司直の府らしい氣分がした

けふの天氣 南寄りの風晴時々曇り驟雨模樣
きのふの溫度 最高 二九度 最低 一五度三

電業青年合同野營

眞夏に鍛へるべく電業協和靑年團二百六十名は二十二日から南嶺動物園内に合同野營を始めたが、全部を四班に別ち各班が三日間宛卅日まで行ふ豫定で、夏陽の下野外の淸澄な空氣を浴びて活動してゐる

世紀の英雄 (113)

夏目靜 畫
番 伸二

銅山と川端（八）

劉青年はとつさに彼女が自分らが歸らうと思つてゐる町迄の旅費を都合してくれといふのではないかと思つた。

だが治子の懇願のし方は少々違つてゐた。

『あなたの主人に話してあたしを黒河ホテルで雇つて下さらない？』

『なにゝです？』

『食堂の女給にでも、女中にでもあたしの出來る事ならなにゝでも、だつて、かうした旅で困り切つて藝者になつた女だつてあるわ』

『それは本當の決心ですか？』

『嘘を言ふ餘裕など、今のあたしにあるものですか』

怒つたやうに言ふのを、劉青年は微笑み乍ら見守つてゐたが

『そんなら僕、貴女方について考へてゐた事があるのですが』

『それ、なんの事？』

『後、五日程すると、うちの十週年記念なのです、それで記念週間といふのを開くのですが、その餘興に何かと思つてゐた所ですから、貴女方に出演て貰つてもいゝのです。毎夜二三時間、貴女方得意なものを踊つて唱つて、ジャズを演奏して貰ふ、さうすれば、とにかく哈爾濱へ歸る汽車賃と、御辨當代位は差しあげられると思ひます』

彼女はその一言に立止ると鼻孔をふくらまして彼をまじ〳〵と見守つてゐたが突然踵でくると旋廻して兩手を擴げた。こみ上げてくる嬉しさがこんな表現方法をとつたのだ。

『まあ。嬉しい。ぢや弓ちやんも花柳さんも樂士さんも皆呼んでいゝのですね』

『この話をきいたら皆、どんなに喜ぶかしら、でも貴方一人で勝手にきめてしまつて御主人に叱られない？』

『あゝ、親父の事ですか？これで案外僕は親父に信用があるのですよ。店も食堂も大體僕の方針通りやつて目下はそれがどうやら當つてゐるものですから一應は息子にまかせておけといふ事になつてゐるのです。尤も僕は、ホテルの勉強をしに行くと稱して東京のR大學に六年も居ましたからね然しその時は、ホテルの勉強どころか、學校の正課だつてなまけつゞけてゐましたが……』

『まあ、あなた、黒河ホテルの息子さんなの？』

彼女はその大きな瞳一杯にして驚いたが、おりから吹きつけた風に目を細めてその白い二重顎を襟の中に埋めてしまふ。

だが、風が行きすぎるとオーバからひよい顔を出してもう一度たしかめるやうに大きな目でまじ〳〵と彼を見詰める。

治子が今になつて、ふと氣がついた事だが、彼は先程から遠慮なく吹いて來る川風に面した側を彼女をかばつてゐてくれる。

あく迄無愛想な表情と態度の中、そんな細かなおもひやりが隱されてゐるとは思へなかつた

民族の違ひ、國民性の相違から來る愛情の示し方が、とにかく知つてみれば、却て彼らしく頼母しく、思へて來る。

その中に、彼女は不思議な錯覺におそはれて來たそれは劉青年が、塚田健太郎におもへて來る事で、ぎゆつとつてゐる腕に思はず力がこもつてしまふ。

そんな意識しない媚態が後になつてどれ程二人を苦しめる結果になるとも知らず。

列車發着表

○大連方面行は
△大連行 前二時二十分
△奉天行 六時二十五分
△釜山行 八時
△奉天行 八時四十五分
△大連行 九時三十五分
△營口行 十時三十分
△四平街行 十二時三十分
△奉天行 後一時五分
△大連行 一時十七分
△大連行 二時三十分
△大連行 三時廿五分
△四平街行 四時五十分
△釜山行 六時五十分
△四平街行 七時四十分
△大連行 九時四十分
△大連行 十一時十三分
△奉天行 十二時三十分

○哈爾濱方面行
△哈爾濱行 前三時四十二分
△吉林行 五時十五分
△哈爾濱行 六時三十分
△哈爾濱行 八時十分
△哈爾濱行 九時
△哈爾濱行 後十二時五十二分
△哈爾濱行 三時十五分
△哈爾濱行 五時三十分
△吉林行 七時十分
△哈爾濱行 十時卅五分
△牡丹江行 十一時四十五分

○圖們方面行
△吉林行 前七時五分
△羅津行 八時卅五分
△圖們行 九時四十五分
△吉林行 後一時
△牡丹江行 三時二十分
△吉林行 七時廿五分
△清津行 十時五分

○白城子方面行
△白城子行 前八時廿五分
△白城子行 十時五十五分
△鄭家屯行 後五時三十分

○大連方面より
△大連發 前三時卅二分
△大連發 六時十八分
△奉天發 七時四十五分
△大連發 八時
△四平街發 八時四十九分
△四平街發 九時四十分
△四平街發 十時卅二分
△釜山發 十一時四十三分
△奉天發 後十二時三十分
△大連發 三時
△大連發 四時十二分
△大連發 五時二十分
△營口發 六時四十八分
△大連發 八時二十分
△奉天發 九時廿五分
△釜山發 九時四十五分
△奉天發 十一時三十分

○哈爾濱方面より
△吉林發 前零時三十分
△哈爾濱發 二時二十分
△牡丹江發 六時五十四分
△哈爾濱發 七時五十四分
△德惠發 十一時三十分
△哈爾濱發 後十二時五十分
△哈爾濱發 一時三十分
△哈爾濱發 三時十分
△哈爾濱發 六時四十分
△哈爾濱發 九時三十分
△哈爾濱發 十一時三十分

○圖們方面より
△清津發 前七時五十三分
△吉林發 十二時廿四分
△牡丹江發 後二時十分
△吉林發 五時廿一分
△圖們發 八時四十分
△羅津發 九時三十分
△吉林發 十一時十五分

○白城子方面より
△鄭家屯發 十二時一分
△白城子發 後六時卅二分
△白城子發 九時五分

大阪商船出帆

うすりい丸 七月廿三日
黒河丸 七月廿四日
さんとす丸 七月廿五日
熱河丸 七月廿八日
うらる丸 七月廿九日
吉林丸 七月三十日
黑龍丸 七月卅一日
扶桑丸 八月一日
らぷらた丸 八月三日
門司、神戸行
（午前十一時大連出帆）
三宅、鹿兒島那覇行
　丸 午後三時大連出帆
事務所は大連、哈爾濱、新京、奉天ビューロー
で切符發賣